

市外転出者に対する住まいのアンケート調査

集計結果



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

平成30年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 抽出方法	1
(4) 抽出結果	1
(5) 調査方法	2
(6) 調査期間	2
(7) 配布・回収状況と有効回答	2
2. 基本集計結果	3
1. 市外転出の時期について	4
問1. 転出届を提出した時期を教えてください。	4
2. 世帯の状況について	4
問2. 世帯の人数を教えてください。	4
問3. 世帯の構成を教えてください。	5
問4. 2017（平成29）年4月1日時点の子どもの年齢を教えてください。	5
問5. 世帯の平成28年の総年収を教えてください。	6
2-2. 世帯主について	7
問6. 性別を教えてください。	7
問7. 2017（平成29）年4月1日時点の年齢を教えてください。	7
問8. これまで川崎市に何年間住んでいたか教えてください。	8
問9. 現在の勤務形態について教えてください。	8
問10. 問9. で「1. フルタイム（週5日以上）」「2. パートタイム（週4日以上）」「3. パートタイム（週1～3日）」を選んだ方にうかがいます。通勤時間を教えてください。	9
問11. 平成28年の年収を教えてください。	11
問12. 以前に、川崎市に住むことになったきっかけや理由を教えてください。	12
2-3. 配偶者について	13
問13. 世帯主に配偶者はいますか。	13
問14. 2017（平成29）年4月1日時点の年齢を教えてください。	13
問15. これまで川崎市に何年間住んでいたか教えてください。	14
問16. 現在の勤務形態について教えてください。	14
問17. 問16. で「1. フルタイム（週5日以上）」「2. パートタイム（週1～3日）」「3. パートタイム（週4日以上）」を選んだ方にうかがいます。通勤時間を教えてください。	15
問18. 平成28年の年収を教えてください。	17
問19. 以前に、川崎市に住むことになったきっかけや理由を教えてください。	18
3. 今回の転居前後の居住状況について	19
問20. 住宅の所在地を教えてください。	19

問2 1. 住宅の「最寄り駅の鉄道路線名」について教えてください。……………	21
問2 2. 住宅から最寄り駅までの移動手段と時間について教えてください。……………	24
問2 3. 住宅の所有関係及び建て方について教えてください。……………	27
問2 4. 問23. で「4. 借家（アパート・マンション等）」を選んだ方にうかがいます。 借家（アパート・マンション等）の種類について教えてください。……………	29
問2 5. 問23. で転居後に「1. 持ち家（戸建て）」「2. 持ち家（マンション等）」を選 んだ方にうかがいます。今回取得した住宅の価格（土地と建物価格の合計）を教えてください。 ……………	31
問2 6. 問23. で「1. 持ち家（戸建て）」「2. 持ち家（マンション等）」を選んだ方に うかがいます。年間の住宅ローン返済額（管理費、修繕積立金、リフォーム費用を含まな い）を教えてください。……………	32
問2 7. 問23. で「3. 借家（戸建て）」「4. 借家（アパート・マンション等）」「5. 給 与住宅（社宅など）」を選んだ方にうかがいます。1か月当たりの住宅の家賃額（管理費、 共益費を含まない）を教えてください。……………	35
問2 8. 住宅の築年数を教えてください。……………	38
問2 9. 住宅の広さを教えてください。……………	40
問2 10. 住宅の間取りを教えてください。……………	43
4. 今回の転居のきっかけや理由について……………	45
問3 1. 今回の転居のきっかけや理由を教えてください。……………	45
問3 2. 転居先の住宅を選んだ理由を教えてください。……………	46
問3 3. 今後の居住予定について教えてください。……………	50
5. 川崎市に不足していた点・今後充実すべき取組について……………	50
問3 4. 川崎市にお住まいの間、不足していると感じていたことや、今後、より充実した ほうが良いと感じる取組について教えてください。……………	50
問3 5. 川崎市の住宅政策に関するご意見などがあれば、自由にお書きください。……………	55

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、15～29歳の若年層の転入が多い一方、35～44歳、および0～9歳が転出超過となっている。小さな子どもを持つ子育て世帯が、子どもの成長にあわせて市外へ転出していると考えられる。市外へ転出した世帯の転出前後の住宅の状況、転出のきっかけや転出先の住宅を選んだ理由等を把握するため、転出した世帯に対してアンケート調査を行う。また、今後のまちづくりの参考とするため、本市の施策として不足していた点や今後充実すべき取組などについても意見を伺う。

(2) 調査対象

2017（平成29）年4月1日時点で18歳未満の子どもがいる世帯のうち、2016（平成28）年9月から2017（平成29）年8月末までに市外への転出手続きを行った4,683世帯から無作為抽出した1,500世帯。

(3) 抽出結果

転出月	調査対象		世帯数	
平成28年9月	336	7.2%	108	7.2%
平成28年10月	342	7.3%	110	7.3%
平成28年11月	256	5.5%	82	5.5%
平成28年12月	322	6.9%	103	6.9%
平成29年1月	260	5.6%	83	5.5%
平成29年2月	375	8.0%	120	8.0%
平成29年3月	1,194	25.5%	382	25.5%
平成29年4月	430	9.2%	138	9.2%
平成29年5月	260	5.6%	83	5.5%
平成29年6月	275	5.9%	88	5.9%
平成29年7月	328	7.0%	105	7.0%
平成29年8月	305	6.5%	98	6.5%
合計	4,683	100.0%	1,500	100.0%

(参考) 月別・区別送付対象者数

	川崎区		幸区		中原区		高津区		宮前区		多摩区		麻生区		合計	
平成28年9月	11	7.1%	7	5.3%	21	6.2%	22	9.7%	19	7.7%	20	8.2%	8	5.1%	108	7.2%
平成28年10月	12	7.7%	10	7.5%	18	5.3%	17	7.5%	19	7.7%	23	9.4%	11	7.1%	110	7.3%
平成28年11月	13	8.3%	7	5.3%	21	6.2%	10	4.4%	8	3.2%	16	6.6%	7	4.5%	82	5.5%
平成28年12月	12	7.7%	8	6.0%	27	8.0%	14	6.2%	16	6.5%	15	6.1%	11	7.1%	103	6.9%
平成29年1月	7	4.5%	9	6.8%	19	5.6%	11	4.8%	17	6.9%	16	6.6%	4	2.6%	83	5.5%
平成29年2月	10	6.4%	9	6.8%	34	10.1%	20	8.8%	15	6.1%	21	8.6%	11	7.1%	120	8.0%
平成29年3月	46	29.5%	38	28.6%	88	26.1%	53	23.3%	68	27.5%	50	20.5%	39	25.0%	382	25.5%
平成29年4月	13	8.3%	6	4.5%	33	9.8%	17	7.5%	24	9.7%	22	9.0%	23	14.7%	138	9.2%
平成29年5月	8	5.1%	7	5.3%	20	5.9%	12	5.3%	12	4.9%	14	5.7%	10	6.4%	83	5.5%
平成29年6月	9	5.8%	7	5.3%	13	3.9%	16	7.0%	16	6.5%	12	4.9%	15	9.6%	88	5.9%
平成29年7月	6	3.8%	14	10.5%	24	7.1%	15	6.6%	18	7.3%	16	6.6%	12	7.7%	105	7.0%
平成29年8月	9	5.8%	11	8.3%	19	5.6%	20	8.8%	15	6.1%	19	7.8%	5	3.2%	98	6.5%
合計	156	100.0%	133	100.0%	337	100.0%	227	100.0%	247	100.0%	244	100.0%	156	100.0%	1,500	100.0%

(5) 調査方法

配布：郵送

回収：郵送又は web 入力どちらか 1 回のみ

(6) 調査期間

2017 (平成 29) 年 9 月 23 日～10 月 18 日到着分までを有効とした。

(7) 配布・回収状況と有効回答

送付数 (a1)	郵送回収 数 (b1)	Web 入力数 (b2)	回収計 (B=b1+b2)	回収率 (B/A)
1,500	358	66	424	28.3%

2. 基本集計結果

一般に、転居理由は「転勤等の職務上の理由によるやむを得ない転居」と、「居住環境の改善を図る等の何らかの意思をもった転居」に大きく二分される。本調査の狙いを考慮すると、前者よりも後者の理由で市外へ転出した世帯を中心に分析を進めることがよいと考えられる。

そこで、本調査では転居理由（問 31、囲み参照）の回答 1，2 を「職務理由転出世帯」、回答 3～15 を「意図的転出世帯」と判定し、基本集計を行うこととする（Q31 は複数回答であり、回答が両者にまたがる場合は、回答 1，2 を優先して判定）。

■転居理由設問（調査票より転載）

問 3 1. 今回の転居のきっかけや理由を教えてください。

〔以下の 1.～15.のうち、2つまで○をしてください〕

(職務上の理由)

1. 世帯主の転職・転勤等

2. 配偶者の転職・転勤等

(ライフステージの変化)

3. 結婚・同棲

7. 子の入園・入学

4. 離婚・別居

8. 親と同居・近居（子育てに支援を得るため）

5. 妊娠

9. 親と同居・近居（親の介護のため）

6. 子の誕生・成長

(住宅・住環境に関すること)

10. 持ち家の取得

14. 転居後の住環境が気に入った

11. 転居前の住宅に不満

15. その他の理由

12. 転居前の住環境に不満

13. 転居後の住宅が気に入った

■集計表の見方（注）

- ・集計母数は有効回答数〔n=422〕を基本とする。ただし、限定質問はその前の設問の回答数により母数が異なる。（例えば、問 10 の通勤時間は、問 9 の回答「働いていない」を除くため、〔n=410〕となる）
- ・集計表下段は回答比率〔%〕を示す。
- ・SAはシングルアンサー（単回答）、MAはマルチアンサー（複数回答）を示す。

1. 市外転出の時期についてうかがいます。

問1. 転出届を提出した時期を教えてください。〔〇は1つ〕

〇全体では、3月と4月の合計で約33%を占めており、学校の入学等の時期に転居届を提出する世帯が多い。意図的転出世帯では、3月と4月の合計は約26%となっており、やや低くなっている。

■転居届の提出時期〔n=422〕

		合計	Q1 転出届の提出時期							
			2016 (平成28)年9月	2016 (平成28)年10月	2016 (平成28)年11月	2016 (平成28)年12月	2017 (平成29)年1月	2017 (平成29)年2月	2017 (平成29)年3月	2017 (平成29)年4月
全体		422 100.0	20 4.7	31 7.3	25 5.9	37 8.8	15 3.6	35 8.3	98 23.2	43 10.2
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	6 4.1	12 8.3	9 6.2	10 6.9	5 3.4	7 4.8	48 33.1	19 13.1
	意図的転出世帯	274 100.0	14 5.1	19 6.9	16 5.8	27 9.9	10 3.6	28 10.2	48 17.5	24 8.8
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0

		合計	Q1 転出届の提出時期				
			2017 (平成29)年5月	2017 (平成29)年6月	2017 (平成29)年7月	2017 (平成29)年8月	無回答
全体		422 100.0	25 5.9	18 4.3	29 6.9	38 9.0	8 1.9
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	6 4.1	5 3.4	8 5.5	9 6.2	1 0.7
	意図的転出世帯	274 100.0	19 6.9	13 4.7	21 7.7	29 10.6	6 2.2
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

2. 世帯*の状況についてうかがいます。

*このアンケートでの世帯とは、住居と生計を共にしている人の集まりのことを指します。

2-1. 世帯全体についてうかがいます。

問2. 世帯の人数を教えてください。〔数字を記入〕

〇全体では、3人世帯と4人世帯の合計で約89%と大半を占める。意図的転出世帯では、2人世帯がやや高くなっている。

■世帯人数〔n=422〕

		合計	NQ2 世帯人数					
			2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均
全体		422 100.0	17 4.0	231 54.7	145 34.4	29 6.9	0 0.0	3.45
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	4 2.8	71 49.0	59 40.7	11 7.6	0 0.0	3.54
	意図的転出世帯	274 100.0	13 4.7	157 57.3	86 31.4	18 6.6	0 0.0	3.41
	無回答	3 100.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3.00

問3. 世帯の構成を教えてください。〔〇は1つ〕

○全体では、夫婦と子が約93%を占め、その他の世帯型は少ない。意図的転出世帯も同様に夫婦と子が大半を占めるが、ひとり親と子の世帯がやや高くなっている。

■世帯構成〔n=422〕

	合計	Q3 世帯構成					
		夫婦と子	ひとり親と子	親・子・孫の三世代	その他	無回答	
全体	422 100.0	393 93.1	22 5.2	6 1.4	1 0.2	0 0.0	
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	139 95.9	5 3.4	1 0.7	0 0.0	0 0.0
	意図的転出世帯	274 100.0	251 91.6	17 6.2	5 1.8	1 0.4	0 0.0
	無回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問4. 2017（平成29）年4月1日時点の子どもの年齢を教えてください。〔数字を記入〕

※3世代（親・子・孫）以上の場合には、一番下の世代（孫など）の年齢をお答えください。

第一子	歳	第四子	歳
第二子	歳	第五子	歳
第三子	歳	第六子	歳

同一路線 12.8%

①子の人数

○全体では、1人が約61%、2人が約34%であり、3人以上の世帯は少ない。意図的転出世帯では、1人も2人も全体の比率と同程度となっている。

■子の人数〔n=422〕

	合計	NMKQ4_01 子の人数						
		1人	2人	3人	4人	無回答	平均	
全体	422 100.0	256 60.7	142 33.6	21 5.0	2 0.5	1 0.2	1.45	
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	79 54.5	57 39.3	9 6.2	0 0.0	0 0.0	1.52
	意図的転出世帯	274 100.0	174 63.5	85 31.0	12 4.4	2 0.7	1 0.4	1.42
	無回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1.00

同一路線 18.2%

②長子年齢

○全体では、0～5歳の乳幼児が約65%、6～12歳の学童が約23%となっており、長子年齢の小さい時期の転出が多い。意図的転出世帯も同様に、年齢の小さい時期の転出が多い。

■長子年齢〔n=422〕

		合計	MKQ4_02 長子年齢						平均
			0～5歳	6～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	無回答	
全体		422 100.0	276 65.4	98 23.2	13 3.1	16 3.8	18 4.3	1 0.2	5.00
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	95 65.5	38 26.2	4 2.8	4 2.8	4 2.8	0 0.0	4.70
	意図的転出世帯	274 100.0	179 65.3	59 21.5	9 3.3	12 4.4	14 5.1	1 0.4	5.19
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2.67

問5. 世帯の平成28年の総年収※を教えてください。〔○は1つ〕

※年収には、ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入、年金、仕送り金なども含めます。

※自営業の場合は、売上高ではなく営業利益を記入してください。

○全体では、主に400万円以上から800万円未満までの各区分に分散している。意図的転出世帯では、100万円以上150万円未満、150万円以上200万円未満の区分と1,000万円以上の区分でやや高くなっている。

■世帯年収〔n=422〕

		合計	Q5 世帯年収							
			100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満
全体		422 100.0	4 0.9	6 1.4	2 0.5	11 2.6	20 4.7	44 10.4	44 10.4	54 12.8
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0	5 3.4	8 5.5	15 10.3	19 13.1	25 17.2
	意図的転出世帯	274 100.0	2 0.7	6 2.2	2 0.7	6 2.2	12 4.4	29 10.6	25 9.1	28 10.2
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

		合計	Q5 世帯年収						無回答	
			700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1,000万円未満	1,000万円以上1,200万円未満	1,200万円以上1,500万円未満	1,500万円以上2,000万円未満		2,000万円以上
全体		422 100.0	56 13.3	36 8.5	31 7.3	55 13.0	35 8.3	10 2.4	5 1.2	9 2.1
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	17 11.7	11 7.6	12 8.3	14 9.7	11 7.6	2 1.4	0 0.0	4 2.8
	意図的転出世帯	274 100.0	39 14.2	25 9.1	19 6.9	40 14.6	23 8.4	8 2.9	5 1.8	5 1.8
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

2-2. 世帯主についてうかがいます。

問6. 性別を教えてください。〔〇は1つ〕

○全体では、男性が約92%と大半を占める。意図的転出世帯では、女性の比率がやや高くなっている。

■世帯主の性別〔n=422〕

		合計	Q6 世帯主の性別		
			男性	女性	無回答
全体		422 100.0	389 92.2	31 7.3	2 0.5
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	137 94.5	6 4.1	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	249 90.9	25 9.1	0 0.0
	無回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0

問7. 2017（平成29）年4月1日時点の年齢を教えてください。〔数字を記入〕

○全体では、30歳代が約54%を占め、次いで40歳代が約27%となっており、平均年齢は37.68歳である。意図的転出世帯では、50歳以上の比較的年齢の高い層の比率やや高くなっており、平均年齢も高い。

■世帯主の年齢〔n=422〕

		合計	NQ7 世帯主の年齢							平均
			29歳以下	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	無回答	
全体		422 100.0	41 9.7	122 28.9	112 26.5	76 18.0	38 9.0	31 7.3	2 0.5	37.68
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	17 11.7	50 34.5	29 20.0	27 18.6	13 9.0	7 4.8	2 1.4	36.74
	意図的転出世帯	274 100.0	24 8.8	72 26.3	81 29.6	49 17.9	24 8.8	24 8.8	0 0.0	38.15
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	39.33

問8. これまで川崎市に何年間住んでいたか教えてください。〔〇は1つ〕

○全体では、2年未満と2年以上5年未満の合計が約52%と過半を占めており、市内居住年数は比較的短い。意図的転出世帯でも約51%が5年未満であるが、20年以上の居住年数の長い世帯主もみられる。

■世帯主の市内居住年数〔n=422〕

		合計	Q8 世帯主の市内居住年数						無回答
			2年未満	2年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	
全体		422 100.0	70 16.6	150 35.5	117 27.7	63 14.9	10 2.4	10 2.4	2 0.5
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	28 19.3	51 35.2	44 30.3	18 12.4	0 0.0	2 1.4	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	41 15.0	98 35.8	72 26.3	45 16.4	10 3.6	8 2.9	0 0.0
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問9. 現在の勤務形態について教えてください。〔〇は1つ〕

○全体では、フルタイム（週5日以上）が約96%と大半を占める。意図的転出世帯もフルタイム（週5日以上）が約95%と、全体と同様の傾向である。

■世帯主の現在の勤務形態〔n=422〕

		合計	Q9 世帯主の現在の勤務形態				無回答
			フルタイム (週5日 以上)	パートタ イム(週 4日以 上)	パートタ イム(週 1~3 日)	働いてい ない	
全体		422 100.0	403 95.5	6 1.4	1 0.2	10 2.4	2 0.5
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	139 95.9	0 0.0	0 0.0	4 2.8	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	261 95.3	6 2.2	1 0.4	6 2.2	0 0.0
	無回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問10. 問9. で「1. フルタイム（週5日以上）」「2. パートタイム（週4日以上）」「3. パートタイム（週1～3日）」を選んだ方にうかがいます。通勤時間を教えてください。〔〇は1つ〕

※転居前に働いていない場合は、転居後のみ記入してください。

①転居前

○全体では、45分以上1時間未満と1時間以上1時間30分未満の合計が約59%を占めている。意図的転出世帯も同区分が約60%となっており、全体と同様の傾向にある。

■世帯主の通勤時間（転居前）〔n=410（問9のフルタイム（週5日以上）の403サンプル+パートタイム（週4日以上）の6サンプル+パートタイム（週1～3日）の1サンプルを対象）〕

		合計	Q10A 世帯主の通勤時間（転居前）							
			15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上	無回答	非該当
全体		410 100.0	20 4.9	36 8.8	77 18.8	127 31.0	115 28.0	18 4.4	17 4.1	12
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	139 100.0	10 7.2	14 10.1	24 17.3	44 31.7	36 25.9	6 4.3	5 3.6	6
	意図的転出世帯	268 100.0	10 3.7	22 8.2	51 19.0	82 30.6	79 29.5	12 4.5	12 4.5	6
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

②転居後

○全体では、1時間以上1時間30分未満が約24%で最も多い。意図的転出世帯では、1時間以上1時間30分未満が約33%で、全体より高くなっている。また、45分未満の各区分で全体よりも低く、45分以上の各区分は全体よりも高い。

■世帯主の通勤時間（転居後）〔n=410（問9のフルタイム（週5日以上）の403サンプル+パートタイム（週4日以上）の6サンプル+パートタイム（週1～3日）の1サンプルを対象）〕

		合計	Q10B 世帯主の通勤時間（転居後）							
			15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上	無回答	非該当
全体		410 100.0	36 8.8	52 12.7	50 12.2	70 17.1	98 23.9	33 8.0	71 17.3	12
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	139 100.0	24 17.3	32 23.0	24 17.3	17 12.2	9 6.5	7 5.0	26 18.7	6
	意図的転出世帯	268 100.0	12 4.5	20 7.5	26 9.7	52 19.4	88 32.8	26 9.7	44 16.4	6
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0

③転居前後

○全体では、通勤時間が増えた世帯主は約 27%、減った世帯主は約 28%、同程度の世帯主は約 24%となっている。意図的転出世帯では、通勤時間が増えた世帯主は約 34%、減った世帯主は約 19%、同程度の世帯主は約 26%となっており、全体に比して通勤時間の増えた世帯主の比率が高い。

■世帯主の通勤時間（転居前後）〔n=410（問9のフルタイム（週5日以上）の403サンプル+パートタイム（週4日以上）の6サンプル+パートタイム（週1～3日）の1サンプルの合計410サンプルを対象）〕

		合計	Q10B 世帯主の通勤時間（転居後）								
			15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上	無回答	非該当	
全体		410 100.0	36 8.8	52 12.7	50 12.2	70 17.1	98 23.9	33 8.0	71 17.3	12	増加 27.3%
Q10A 世帯主の通勤時間（転居前）	15分未満	20 100.0	9 45.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	0	
	15分以上30分未満	36 100.0	5 13.9	6 16.7	6 16.7	9 25.0	6 16.7	0 0.0	4 11.1	0	
	30分以上45分未満	77 100.0	6 7.8	13 16.9	12 15.6	13 16.9	20 26.0	1 1.3	12 15.6	0	
	45分以上1時間未満	127 100.0	5 3.9	10 7.9	15 11.8	29 22.8	27 21.3	11 8.7	30 23.6	0	
	1時間以上1時間30分未満	115 100.0	9 7.8	16 13.9	10 8.7	15 13.0	35 30.4	10 8.7	20 17.4	0	
	1時間30分以上	18 100.0	2 11.1	3 16.7	1 5.6	3 16.7	1 5.6	6 33.3	2 11.1	0	
	無回答	17 100.0	0 0.0	1 5.9	2 0.0	1 0.0	7 0.0	4 23.5	1 5.9	0	
	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	同程度 23.7%

■世帯主の通勤時間（転居前後：意図的転出世帯）〔n=268（問9のフルタイム（週5日以上）の403サンプル+パートタイム（週4日以上）の6サンプル+パートタイム（週1～3日）の1サンプルの合計410サンプルのうち、問31の意図的転出世帯を対象）〕

		合計	Q10B 世帯主の通勤時間（転居後）								
			15分未満	15分以上30分未満	30分以上45分未満	45分以上1時間未満	1時間以上1時間30分未満	1時間30分以上	無回答	非該当	
全体		268 100.0	12 4.5	20 7.5	26 9.7	52 19.4	88 32.8	26 9.7	44 16.4	6	増加 34.3%
Q10A 世帯主の通勤時間（転居前）	15分未満	10 100.0	4 40.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	1 10.0	0	
	15分以上30分未満	22 100.0	3 13.6	2 9.1	2 9.1	8 36.4	6 27.3	0 0.0	1 4.5	0	
	30分以上45分未満	51 100.0	1 2.0	4 7.8	7 13.7	10 19.6	19 37.3	0 0.0	10 19.6	0	
	45分以上1時間未満	82 100.0	0 0.0	4 4.9	10 12.2	22 26.8	25 30.5	7 8.5	14 17.1	0	
	1時間以上1時間30分未満	79 100.0	3 3.8	6 7.6	5 6.3	9 11.4	30 38.0	10 12.7	16 20.3	0	
	1時間30分以上	12 100.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	2 16.7	1 8.3	5 41.7	2 16.7	0	
	無回答	12 100.0	0 0.0	1 8.3	1 0.0	1 0.0	6 0.0	3 25.0	0 0.0	0	
	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0	同程度 26.1%

問 1 1. 平成 28 年の年収※を教えてください。〔〇は 1 つ〕

※年収には、ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入、年金、仕送り金なども含めます。

※自営業の場合は、売上高ではなく営業利益を記入してください。

〇全体では、1,000 万円以上が約 16%と最も多く、400 万円以上から 800 万円未満の各区分に 10% 以上ずつ分散しており、300 万円未満は 1～2%と少ない。意図的転出世帯では、最も多い区分は 500 万円以上 600 万円未満で約 17%、次いで 1,000 万円以上が約 15%となっている。

■世帯主の年収〔n=422〕

		合計	Q11 世帯主の年収							
			100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満
全体		422 100.0	7 1.7	6 1.4	5 1.2	12 2.8	32 7.6	51 12.1	64 15.2	61 14.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	3 2.1	1 0.7	0 0.0	6 4.1	11 7.6	20 13.8	17 11.7	29 20.0
	意図的転出世帯	274 100.0	4 1.5	5 1.8	5 1.8	6 2.2	21 7.7	31 11.3	47 17.2	31 11.3
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3

		合計	Q11 世帯主の年収				
			700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
全体		422 100.0	47 11.1	35 8.3	21 5.0	67 15.9	14 3.3
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	13 9.0	9 6.2	6 4.1	23 15.9	7 4.8
	意図的転出世帯	274 100.0	34 12.4	26 9.5	15 5.5	42 15.3	7 2.6
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0

問12. 以前に、川崎市に住むことになったきっかけや理由を教えてください。〔〇は2つまで〕

〇全体では、世帯主自身の就職・転職・転勤が最も多く約42%、次いで結婚・同棲が約30%となっている。意図的転出世帯では、結婚・同棲が最も多く約34%、次いで世帯主自身の就職・転職・転勤が約29%と順位が逆転している。また、子どもの頃から住んでいた世帯主が全体に比して高い。

■世帯主の市内居住理由〔n=422〕

		合計	Q12 世帯主の市内居住理由							
			子どもの頃から住んでいた、親の	世帯主自身の進学	世帯主自身の就職・転職・転勤	配偶者の事由	結婚・同棲	離婚・別居	妊娠	子の誕生・成長
全体		422 100.0	20 4.7	3 0.7	175 41.5	25 5.9	126 29.9	5 1.2	2 0.5	11 2.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	3 2.1	1 0.7	95 65.5	6 4.1	31 21.4	0 0.0	0 0.0	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	17 6.2	1 0.4	78 28.5	19 6.9	94 34.3	5 1.8	2 0.7	8 2.9
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q12 世帯主の市内居住理由							
			子の入園・入学	親と同居・近居（子育てに支援を	親と同居・近居（親の介護のた	親世帯から独立	持ち家の取得	川崎市に住む前の住宅に不満	川崎市に住む前の住環境に不満	住宅が気に入った
全体		422 100.0	7 1.7	16 3.8	3 0.7	6 1.4	31 7.3	10 2.4	3 0.7	29 6.9
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	1 0.7	4 2.8	0 0.0	1 0.7	8 5.5	5 3.4	1 0.7	7 4.8
	意図的転出世帯	274 100.0	6 2.2	12 4.4	3 1.1	5 1.8	23 8.4	5 1.8	2 0.7	22 8.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q12 世帯主の市内居住理由		
			住環境が気に入った	その他の理由	無回答
全体		422 100.0	53 12.6	25 5.9	2 0.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	16 11.0	5 3.4	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	37 13.5	19 6.9	0 0.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

2-3. 配偶者についてうかがいます。

問13. 世帯主に配偶者はいますか。〔〇は1つ〕

○全体では、配偶者がいるのは95%で大半を占める。意図的転出世帯では、配偶者がいない世帯が全体に比して多い。

■配偶者の有無〔n=422〕

		合計	Q13 配偶者の有無		
			はい、配偶者がいます	いいえ、配偶者はいません	無回答
全体		422 100.0	401 95.0	18 4.3	3 0.7
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	139 95.9	4 2.8	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	259 94.5	14 5.1	1 0.4
	無回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0

問14. 2017（平成29）年4月1日時点の年齢を教えてください。〔数字を記入〕

○全体では、30歳代が約59%を占め、次いで40歳代が約22%となっており、平均年齢は35.97歳である。意図的転出世帯では、50歳以上の比較的年齢の高い層の比率がやや高くなっており、平均年齢もやや高い。

■配偶者の年齢〔n=401（問13の配偶者がいる401サンプルを対象）〕

		合計	NQ14 配偶者の年齢							非該当
			29歳以下	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	無回答	
全体		401 100.0	57 14.2	122 30.4	113 28.2	66 16.5	22 5.5	17 4.2	4 1.0	21
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	19 13.7	49 35.3	38 27.3	24 17.3	6 4.3	3 2.2	0 0.0	6
	意図的転出世帯	259 100.0	38 14.7	71 27.4	75 29.0	42 16.2	15 5.8	14 5.4	4 1.5	15
	無回答	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0

		合計	NQ14 配偶者の年齢平均
全体		401 100.0	35.97
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	35.35
	意図的転出世帯	259 100.0	36.29
	無回答	3 100.0	37.67

問 15. これまで川崎市に何年間住んでいたか教えてください。〔〇は1つ〕

○全体では、2年未満と2年以上5年未満の合計が約57%を占めており、市内居住年数は比較的短い。意図的転出世帯もほぼ同様の傾向にあるが、20年以上の居住年数の長い配偶者もみられる。

■配偶者の市内居住年数〔n=401（問13の配偶者がいる401サンプルを対象）〕

		合計	Q15 配偶者の市内居住年数							非該当
			2年未満	2年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答	
全体		401 100.0	68 17.0	160 39.9	90 22.4	55 13.7	14 3.5	13 3.2	1 0.2	21
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	139 100.0	27 19.4	55 39.6	35 25.2	19 13.7	1 0.7	2 1.4	0 0.0	6
	意図的転出世帯	259 100.0	40 15.4	103 39.8	55 21.2	36 13.9	13 5.0	11 4.2	1 0.4	15
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

問 16. 現在の勤務形態について教えてください。〔〇は1つ〕

○全体では、働いていないが最も多く約61%を占めるが、フルタイム（週5日以上）も約26%いる。意図的転出世帯では、働いていない比率が全体より低く、フルタイム（週5日以上）の比率が全体より高くなっている。

■配偶者の現在の勤務形態〔n=401（問13の配偶者がいる401サンプルを対象）〕

		合計	Q16 配偶者の現在の勤務形態					非該当
			フルタイム (週5日 以上)	パートタ イム(週 4日以 上)	パートタ イム(週 1~3 日)	働いてい ない	無回答	
全体		401 100.0	106 26.4	23 5.7	27 6.7	245 61.1	0 0.0	21
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	139 100.0	19 13.7	12 8.6	6 4.3	102 73.4	0 0.0	6
	意図的転出世帯	259 100.0	87 33.6	11 4.2	21 8.1	140 54.1	0 0.0	15
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0

問17. 問16. で「1. フルタイム（週5日以上）」「2. パートタイム（週1～3日）」「3. パートタイム（週4日以上）」を選んだ方にうかがいます。通勤時間を教えてください。〔〇は1つ〕

※転居前に働いていない場合は、転居後のみ記入してください

①転居前

○全体では、45分以上1時間未満が最も多く約24%、次いで1時間以上1時間30分未満が約19%となっている。意図的転出世帯では、45分以上1時間未満、1時間以上1時間30分未満の区分とも全体に比して比率が高くなっている。

■配偶者の通勤時間（転居前）〔n=156（問16のフルタイム（週5日以上）の106サンプル+パートタイム（週4日以上）の23サンプル+パートタイム（週1～3日）の27サンプルを対象）〕

		合計	Q17A 配偶者の通勤時間（転居前）							非該当
			15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上	無回答	
全体		156 100.0	28 17.9	22 14.1	21 13.5	37 23.7	30 19.2	1 0.6	17 10.9	266
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	37 100.0	13 35.1	4 10.8	3 8.1	6 16.2	5 13.5	0 0.0	6 16.2	108
	意図的転出世帯	119 100.0	15 12.6	18 15.1	18 15.1	31 26.1	25 21.0	1 0.8	11 9.2	155
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3

②転居後

○全体では、15分以上30分未満、30分以上45分未満、1時間以上1時間30分未満の3区分がそれぞれ約17～18%と分散している。意図的転出世帯では、1時間以上1時間30分未満が約23%と高く、次いで30分以上45分未満の区分となっている。

■配偶者の通勤時間（転居後）〔n=156（問16のフルタイム（週5日以上）の106サンプル+パートタイム（週4日以上）の23サンプル+パートタイム（週1～3日）の27サンプルを対象）〕

		合計	Q17B 配偶者の通勤時間（転居後）							非該当
			15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上	無回答	
全体		156 100.0	15 9.6	26 16.7	27 17.3	19 12.2	28 17.9	7 4.5	34 21.8	266
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	37 100.0	6 16.2	10 27.0	6 16.2	4 10.8	1 2.7	0 0.0	10 27.0	108
	意図的転出世帯	119 100.0	9 7.6	16 13.4	21 17.6	15 12.6	27 22.7	7 5.9	24 20.2	155
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3

③転居前後

○全体では、通勤時間が増えた配偶者は約 27%、減った配偶者は約 19%、同程度の配偶者は約 22%となっている。意図的転出世帯では、通勤時間が増えた配偶者は約 29%、減った配偶者は約 18%、同程度の配偶者は約 24%となっている。増えた配偶者の比率が全体より若干高いが、世帯主ほどの開きはない。

■配偶者の通勤時間（転居前後）〔n=156（問16のフルタイム（週5日以上）の106サンプル+パートタイム（週4日以上）の23サンプル+パートタイム（週1～3日）の27サンプルの合計156サンプルを対象）〕

		合計	Q17B 配偶者の通勤時間（転居後）							
			15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上	無回答	非該当
全体		156 100.0	15 9.6	26 16.7	27 17.3	19 12.2	28 17.9	7 4.5	34 21.8	266
Q17A 配偶者の 通勤時間 （転居前）	15分未満	28 100.0	8 28.6	4 14.3	4 14.3	1 3.6	3 10.7	0 0.0	8 28.6	0
	15分以上30分未満	22 100.0	2 9.1	6 27.3	5 22.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 40.9	0
	30分以上45分未満	21 100.0	0 0.0	3 14.3	4 19.0	4 19.0	6 28.6	0 0.0	4 19.0	0
	45分以上1時間未満	37 100.0	1 2.7	2 5.4	6 16.2	8 21.6	9 24.3	6 16.2	5 13.5	0
	1時間以上1時間30分未満	30 100.0	1 3.3	5 16.7	4 13.3	6 20.0	7 23.3	0 0.0	7 23.3	0
	1時間30分以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0
	無回答	17 100.0	3 17.6	6 35.3	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0
	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

増加 26.9%

減少 19.2%

同程度 21.8%

■配偶者の通勤時間（転居前後：意図的転出世帯）〔n=119（問16のフルタイム（週5日以上）の106サンプル+パートタイム（週4日以上）の23サンプル+パートタイム（週1～3日）の27サンプルの合計156サンプルのうち、問31の意図的転出世帯を対象）〕

		合計	Q17B 配偶者の通勤時間（転居後）							
			15分未満	15分以上 30分未満	30分以上 45分未満	45分以上 1時間未満	1時間以上 1時間30分未満	1時間30分 以上	無回答	非該当
全体		119 100.0	9 7.6	16 13.4	21 17.6	15 12.6	27 22.7	7 5.9	24 20.2	155
Q17A 配偶者の 通勤時間 （転居前）	15分未満	15 100.0	5 33.3	2 13.3	1 6.7	1 6.7	3 20.0	0 0.0	3 20.0	0
	15分以上30分未満	18 100.0	1 5.6	5 27.8	5 27.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 38.9	0
	30分以上45分未満	18 100.0	0 0.0	2 11.1	4 22.2	3 16.7	6 33.3	0 0.0	3 16.7	0
	45分以上1時間未満	31 100.0	0 0.0	1 3.2	6 19.4	7 22.6	8 25.8	6 19.4	3 9.7	0
	1時間以上1時間30分未満	25 100.0	1 4.0	3 12.0	3 12.0	4 16.0	7 28.0	0 0.0	7 28.0	0
	1時間30分以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0
	無回答	11 100.0	2 18.2	3 27.3	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0
	非該当	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

増加 29.4%

減少 17.6%

同程度 24.4%

問18. 平成28年の年収※を教えてください。〔〇は1つ〕

※年収には、ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入、年金、仕送り金なども含めます。

※自営業の場合は、売上高ではなく営業利益を記入してください。

○全体では、100万円未満が約47%、300万円以上は約21%となっており、配偶者の収入は少ない。意図的転出世帯では、100万円未満の比率は全体よりやや低く、300万円以上は約26%とやや高い。

■配偶者の年収〔n=401（問13の配偶者がいる401サンプルを対象）〕

		合計	Q18 配偶者の年収							
			100万円未満	100万円以上150万円未満	150万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上600万円未満	600万円以上700万円未満
全体		401 100.0	190 47.4	21 5.2	14 3.5	18 4.5	28 7.0	19 4.7	20 5.0	7 1.7
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	74 53.2	6 4.3	6 4.3	5 3.6	7 5.0	2 1.4	4 2.9	1 0.7
	意図的転出世帯	259 100.0	113 43.6	15 5.8	8 3.1	13 5.0	21 8.1	17 6.6	16 6.2	6 2.3
	無回答	3 100.0	3 100.0	0 0.0						

		合計	Q18 配偶者の年収					非該当
			700万円以上800万円未満	800万円以上900万円未満	900万円以上1,000万円未満	1,000万円以上	無回答	
全体		401 100.0	3 0.7	3 0.7	2 0.5	3 0.7	73 18.2	21
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	30 21.6	6
	意図的転出世帯	259 100.0	2 0.8	2 0.8	1 0.4	2 0.8	43 16.6	15
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

問19. 以前に、川崎市に住むことになったきっかけや理由を教えてください。〔〇は2つまで〕

〇全体では、結婚・同棲が最も多く約37%、次いで世帯主の事由約22%となっている。意図的転出世帯では、全体と同様に結婚・同棲が最も多いが比率が高くなっている。また、子どもの頃から住んでいた配偶者が全体に比して高い。

■配偶者の市内居住理由〔n=401（問13の配偶者がいる401サンプルを対象）〕

		合計	Q19 配偶者の市内居住理由							
			子どもの頃から住んでいた、親の	配偶者自身の進学	配偶者自身の就職・転職・転勤	世帯主の事由	結婚・同棲	離婚・別居	妊娠	子の誕生・成長
全体		401 100.0	31 7.7	1 0.2	70 17.5	87 21.7	150 37.4	0 0.0	5 1.2	10 2.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	6 4.3	1 0.7	35 25.2	41 29.5	42 30.2	0 0.0	1 0.7	3 2.2
	意図的転出世帯	259 100.0	25 9.7	0 0.0	33 12.7	45 17.4	107 41.3	0 0.0	4 1.5	7 2.7
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q19 配偶者の市内居住理由							
			子の入園・入学	親と同居・近居（子育てに支援を	親と同居・近居（親の介護のた	親世帯から独立	持ち家の取得	川崎市に住む前の住宅に不満	川崎市に住む前の住環境に不満	住宅が気に入った
全体		401 100.0	8 2.0	15 3.7	1 0.2	9 2.2	24 6.0	6 1.5	4 1.0	26 6.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	2 1.4	4 2.9	0 0.0	4 2.9	6 4.3	2 1.4	2 1.4	9 6.5
	意図的転出世帯	259 100.0	6 2.3	11 4.2	1 0.4	5 1.9	18 6.9	4 1.5	2 0.8	17 6.6
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q19 配偶者の市内居住理由			
			住環境が気に入った	その他の理由	無回答	非該当
全体		401 100.0	37 9.2	14 3.5	6 1.5	21
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	139 100.0	15 10.8	4 2.9	3 2.2	6
	意図的転出世帯	259 100.0	22 8.5	10 3.9	3 1.2	15
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

3. 今回の転居前後の居住状況についてうかがいます。

問20. 住宅の所在地を教えてください。〔記入〕 ※記入例を参考に記入してください。

①転居前

○全体では、中原区が最も多く約24%で、約7%の幸区が最も少ない。意図的転出世帯でも、中原区が最も多く約26%を占める。

■所在地（転居前）〔n=422〕

		合計	MKQ20A 所在地（転居前）							
			川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	無回答
全体		422 100.0	39 9.2	30 7.1	103 24.4	62 14.7	67 15.9	66 15.6	42 10.0	13 3.1
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	17 11.7	7 4.8	30 20.7	22 15.2	25 17.2	25 17.2	12 8.3	7 4.8
	意図的転出世帯	274 100.0	22 8.0	22 8.0	72 26.3	40 14.6	42 15.3	40 14.6	30 10.9	6 2.2
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

②転居後

○全体では、その他国内を除くと横浜市隣接区が最も多い。意図的転出世帯では、その他国内は少なく、横浜市隣接区が約18%を占める。隣接自治体（横浜市隣接区、23区の隣接区、都内隣接市）を合計すると約40%となっている。

■所在地（転居後）〔n=422〕

		合計	MKQ20B 所在地（転居後）							
			横浜市隣接区	横浜市の隣接区以外	横浜市以外の神奈川県	23区の隣接区	23区の隣接区以外	都内隣接市	隣接市以外の都内	千葉県
全体		422 100.0	52 12.3	38 9.0	31 7.3	31 7.3	44 10.4	35 8.3	27 6.4	19 4.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	4 2.8	4 2.8	3 2.1	3 2.1	7 4.8	1 0.7	3 2.1	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	48 17.5	34 12.4	27 9.9	28 10.2	37 13.5	34 12.4	23 8.4	16 5.8
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

		合計	MKQ20B 所在地（転居後）		
			埼玉県	その他国内	無回答
全体		422 100.0	18 4.3	115 27.3	12 2.8
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	7 4.8	103 71.0	7 4.8
	意図的転出世帯	274 100.0	10 3.6	12 4.4	5 1.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

③転居前後

○全体では、その他国内を除くと、幸区からは横浜市の隣接区以外、多摩区からは隣接市以外の都内、麻生区からは都内隣接市が多いなど、転居前所在地による特徴がみられる。意図的転出世帯では、中原区の転出数が最も多い。転出先は神奈川県内が約40%、東京都内が約45%となっており、都内への転居のほうが上回っている。また、隣接区市への転居が約40%を占め、転居前所在地により選ばれやすい転居先自治体が異なっている。中原区・高津区では、都内への転居がそれぞれ約42%、程度みられる。

■所在地（転居前後）〔n=422〕

	合計	MKQ20B 所在地（転居後）										
		横浜市隣接区	横浜市の隣接区以外	横浜市以外の神奈川県	23区の隣接区	23区の隣接区以外	都内隣接市	隣接市以外の都内	千葉県	埼玉県	その他国内	無回答
全体	422 100.0	52 12.3	38 9.0	31 7.3	31 7.3	44 10.4	35 8.3	27 6.4	19 4.5	18 4.3	115 27.3	12 2.8
MKQ20A 所在地（転居前）												
川崎区	39 100.0	4 10.3	5 12.8	1 2.6	2 5.1	4 10.3	1 2.6	0 0.0	6 15.4	2 5.1	13 33.3	1 2.6
幸区	30 100.0	3 10.0	8 26.7	5 16.7	2 6.7	3 10.0	1 3.3	1 3.3	0 0.0	0 0.0	6 20.0	1 3.3
中原区	103 100.0	13 12.6	9 8.7	7 6.8	10 9.7	16 15.5	3 2.9	3 2.9	6 5.8	10 9.7	25 24.3	1 1.0
高津区	62 100.0	8 12.9	5 8.1	3 4.8	9 14.5	4 6.5	8 12.9	3 4.8	2 3.2	2 3.2	18 29.0	0 0.0
宮前区	67 100.0	15 22.4	5 7.5	5 7.5	2 3.0	9 13.4	2 3.0	2 3.0	2 3.0	0 0.0	22 32.8	3 4.5
多摩区	66 100.0	4 6.1	3 4.5	4 6.1	3 4.5	3 4.5	9 13.6	16 24.2	2 3.0	3 4.5	17 25.8	2 3.0
麻生区	42 100.0	3 7.1	3 7.1	4 9.5	3 7.1	4 9.5	10 23.8	1 2.4	0 0.0	1 2.4	11 26.2	2 4.8
無回答	13 100.0	2 15.4	0 0.0	2 15.4	0 0.0	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	3 23.1	2 15.4

■所在地（転居前後：意図的転出世帯）〔n=274（問31の意図的転出世帯を対象）〕

	合計	MKQ20B 所在地（転居後）										
		横浜市隣接区	横浜市の隣接区以外	横浜市以外の神奈川県	23区の隣接区	23区の隣接区以外	都内隣接市	隣接市以外の都内	千葉県	埼玉県	その他国内	無回答
全体	274 100.0	48 17.5	34 12.4	27 9.9	28 10.2	37 13.5	34 12.4	23 8.4	16 5.8	10 3.6	12 4.4	5 1.8
MKQ20A 所在地（転居前）												
川崎区	22 100.0	4 18.2	5 22.7	1 4.5	1 4.5	3 13.6	1 4.5	0 0.0	5 22.7	0 0.0	2 9.1	0 0.0
幸区	22 100.0	3 13.6	7 31.8	4 18.2	2 9.1	3 13.6	1 4.5	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5
中原区	72 100.0	12 16.7	8 11.1	7 9.7	10 13.9	15 20.8	3 4.2	2 2.8	5 6.9	6 8.3	3 4.2	1 1.4
高津区	40 100.0	7 17.5	4 10.0	3 7.5	8 20.0	2 5.0	8 20.0	3 7.5	2 5.0	1 2.5	2 5.0	0 0.0
宮前区	42 100.0	15 35.7	5 11.9	5 11.9	1 2.4	7 16.7	2 4.8	2 4.8	2 4.8	0 0.0	2 4.8	1 2.4
多摩区	40 100.0	2 5.0	2 5.0	2 5.0	3 7.5	3 7.5	9 22.5	14 35.0	2 5.0	2 5.0	0 0.0	1 2.5
麻生区	30 100.0	3 10.0	3 10.0	4 13.3	3 10.0	3 10.0	9 30.0	1 3.3	0 0.0	1 3.3	2 6.7	1 3.3
無回答	6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0

問2 1. 住宅の「最寄り駅の鉄道路線名」について教えてください。〔〇は1つ〕

①転居前

○全体では、JR南武線が最も多く次いで東急田園都市線であり、両路線で約46%を占める。意図的転出世帯も同様の傾向にある。

■最寄り駅の路線名（転居前）〔n=422〕

		合計	Q21A 最寄り駅の路線名（転居前）							
			J R東海道本線・京浜東北線	J R横須賀線	J R南武線	京急本線・大師線	東急東横線	東急田園都市線	小田急小田原線・多摩線	京王相模原線
全体		422 100.0	26 6.2	30 7.1	98 23.2	20 4.7	58 13.7	97 23.0	67 15.9	11 2.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	10 6.9	11 7.6	32 22.1	9 6.2	17 11.7	36 24.8	22 15.2	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	16 5.8	19 6.9	64 23.4	11 4.0	40 14.6	61 22.3	45 16.4	9 3.3
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q21A 最寄り駅の路線名（転居前）	
			その他	無回答
全体		422 100.0	5 1.2	10 2.4
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	0 0.0	6 4.1
	意図的転出世帯	274 100.0	5 1.8	4 1.5
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0

②転居後

○全体ではそのほか約 56%と過半を占める。意図的転出世帯では、そのほかは約 41%と全体に比して低く、次いで東急田園都市線が 12%となっている。

■最寄り駅の路線名（転居後）〔n=422〕

	合計	Q21B 最寄り駅の路線名（転居後）								
		J R東海道本線・京浜東北線	J R横須賀線	J R南武線	京急本線・大師線	東急東横線	東急田園都市線	小田急小田原線・多摩線	京王相模原線	
全体	422 100.0	34 8.1	9 2.1	10 2.4	15 3.6	24 5.7	38 9.0	26 6.2	15 3.6	
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	8 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.7	5 3.4	2 1.4	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	25 9.1	9 3.3	10 3.6	15 5.5	23 8.4	33 12.0	24 8.8	13 4.7
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	合計	Q21B 最寄り駅の路線名（転居後）	
		その他	無回答
全体	422 100.0	237 56.2	14 3.3
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	11 4.0
	無回答	3 100.0	0 0.0

③転居前後

○全体では、その他を除くと同一路線の合計が約13%となっている。同一路線の比率が高い路線は、JR東海道本線・京浜東北線が約15%、東急東横線が約16%、東急田園都市線が約19%、小田急小田原線・多摩線が約16%、京王相模原線が約27%となっている。意図的転出世帯では、同一路線の合計が約18%と、全体に比して高い。東急線・小田急線は同一路線が20%を超えている。

■最寄り駅の路線名（転居前後）〔n=422〕

		Q21B 最寄り駅の路線名（転居後）										
		合計	J R東海道本線・京浜東北線	J R横須賀線	J R南武線	京急本線・大師線	東急東横線	東急田園都市線	小田急小田原線・多摩線	京王相模原線	その他	無回答
全体		422 100.0	34 8.1	9 2.1	10 2.4	15 3.6	24 5.7	38 9.0	26 6.2	15 3.6	237 56.2	14 3.3
Q21A 最寄り駅の路線名（転居前）	J R東海道本線・京浜東北線	26 100.0	4 15.4	0 0.0	0 0.0	2 7.7	1 3.8	0 0.0	1 3.8	0 0.0	16 61.5	2 7.7
	J R横須賀線	30 100.0	4 13.3	2 6.7	0 0.0	0 0.0	3 10.0	2 6.7	0 0.0	0 0.0	19 63.3	0 0.0
	J R南武線	98 100.0	11 11.2	2 2.0	5 5.1	3 3.1	5 5.1	5 5.1	7 7.1	6 6.1	54 55.1	0 0.0
	京急本線・大師線	20 100.0	4 20.0	1 5.0	0 0.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 65.0	0 0.0
	東急東横線	58 100.0	3 5.2	1 1.7	0 0.0	1 1.7	9 15.5	4 6.9	0 0.0	1 1.7	36 62.1	3 5.2
	東急田園都市線	97 100.0	6 6.2	2 2.1	1 1.0	2 2.1	6 6.2	18 18.6	4 4.1	0 0.0	55 56.7	3 3.1
	小田急小田原線・多摩線	67 100.0	2 3.0	1 1.5	2 3.0	4 6.0	0 0.0	5 7.5	11 16.4	5 7.5	34 50.7	3 4.5
	京王相模原線	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	3 27.3	5 45.5	1 9.1
	その他	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
	無回答	10 100.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	4 40.0	1 10.0

■最寄り駅の路線名（転居前後：意図的転出世帯）〔n=274（問31の意図的転出世帯を対象）〕

		Q21B 最寄り駅の路線名（転居後）										
		合計	J R東海道本線・京浜東北線	J R横須賀線	J R南武線	京急本線・大師線	東急東横線	東急田園都市線	小田急小田原線・多摩線	京王相模原線	その他	無回答
全体		274 100.0	25 9.1	9 3.3	10 3.6	15 5.5	23 8.4	33 12.0	24 8.8	13 4.7	111 40.5	11 4.0
Q21A 最寄り駅の路線名（転居前）	J R東海道本線・京浜東北線	16 100.0	3 18.8	0 0.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	8 50.0	1 6.3
	J R横須賀線	19 100.0	3 15.8	2 10.5	0 0.0	0 0.0	3 15.8	2 10.5	0 0.0	0 0.0	9 47.4	0 0.0
	J R南武線	64 100.0	9 14.1	2 3.1	5 7.8	3 4.7	5 7.8	2 3.1	6 9.4	6 9.4	26 40.6	0 0.0
	京急本線・大師線	11 100.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 54.5	0 0.0
	東急東横線	40 100.0	1 2.5	1 2.5	0 0.0	1 2.5	8 20.0	4 10.0	0 0.0	1 2.5	21 52.5	3 7.5
	東急田園都市線	61 100.0	5 8.2	2 3.3	1 1.6	2 3.3	6 9.8	17 27.9	4 6.6	0 0.0	22 36.1	2 3.3
	小田急小田原線・多摩線	45 100.0	2 4.4	1 2.2	2 4.4	4 8.9	0 0.0	5 11.1	10 22.2	3 6.7	15 33.3	3 6.7
	京王相模原線	9 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1
	その他	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
	無回答	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問2. 住宅から最寄り駅までの移動手段と時間について教えてください。〔〇は1つ〕

①転居前

〇全体では、徒歩が約86%、うち徒歩15分未満までの合計が約73%を占め、徒歩圏に立地している住宅が大半である。バス利用は約14%となっている。意図的転出世帯もほぼ同様の傾向である。

■最寄り駅までの移動手段と時間（転居前）〔n=422〕

		合計	Q22A 最寄り駅までの移動手段と時間（転居前）							
			徒歩で5分未満	徒歩で5分以上10分未満	徒歩で10分以上15分未満	徒歩で15分以上	バス利用で15分未満	バス利用で15分以上30分未満	バス利用で30分以上	その他
全体		422 100.0	66 15.6	127 30.1	116 27.5	53 12.6	40 9.5	18 4.3	0 0.0	0 0.0
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	24 16.6	39 26.9	43 29.7	19 13.1	12 8.3	6 4.1	0 0.0	0 0.0
	意図的転出世帯	274 100.0	41 15.0	87 31.8	73 26.6	33 12.0	28 10.2	12 4.4	0 0.0	0 0.0
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q22A 最寄り駅までの移動手段と時間（転居前）
			無回答
全体		422 100.0	2 0.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	0 0.0
	無回答	3 100.0	0 0.0

②転居後

○全体では、徒歩 15 分未満までの合計が約 65%となり、その他にも回答がみられる。意図的転出世帯では、バス利用の比率がやや低くなっている。

■最寄り駅までの移動手段と時間（転居後）〔n=422〕

		合計	Q22B 最寄り駅までの移動手段と時間（転居後）							
			徒歩で5分未満	徒歩で5分以上10分未満	徒歩で10分以上15分未満	徒歩で15分以上	バス利用で15分未満	バス利用で15分以上30分未満	バス利用で30分以上	その他
全体		422 100.0	48 11.4	130 30.8	97 23.0	57 13.5	33 7.8	19 4.5	3 0.7	16 3.8
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	17 11.7	42 29.0	31 21.4	14 9.7	11 7.6	8 5.5	2 1.4	14 9.7
	意図的転出世帯	274 100.0	31 11.3	86 31.4	66 24.1	43 15.7	21 7.7	11 4.0	1 0.4	2 0.7
	無回答	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q22B 最寄り駅までの移動手段と時間（転居後）	
			無回答	
全体		422 100.0	19 4.5	
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	6 4.1	
	意図的転出世帯	274 100.0	13 4.7	
	無回答	3 100.0	0 0.0	

③転居前後

○全体では、その他を除き、移動時間の増えた世帯が約 35%、減った世帯が約 28%、同程度の世帯が約 28%となっている。意図的転出世帯も全体とほぼ同様の傾向にある。

■最寄り駅までの移動手段と時間（転居前後）〔n=422〕

	合計	Q22B 最寄り駅までの移動手段と時間（転居前後）									
		徒歩で5分未満	徒歩で5分以上10分未満	徒歩で10分以上15分未満	徒歩で15分以上	バス利用で15分未満	バス利用で15分以上30分未満	バス利用で30分以上	その他	無回答	
全体	422 100.0	48 11.4	130 30.8	97 23.0	57 13.5	33 7.8	19 4.5	3 0.7	16 3.8	19 4.5	増加 35.1%
Q22A 最寄り駅までの移動手段と時間（転居前）	徒歩で5分未満	66 100.0	13 19.7	29 43.9	10 15.2	7 10.6	1 1.5	0 0.0	2 3.0	1 1.5	3 4.5
	徒歩で5分以上10分未満	127 100.0	13 10.2	49 38.6	34 26.8	11 8.7	5 3.9	7 5.5	0 0.0	3 2.4	5 3.9
	徒歩で10分以上15分未満	116 100.0	15 12.9	31 26.7	29 25.0	19 16.4	7 6.0	5 4.3	0 0.0	6 5.2	4 3.4
	徒歩で15分以上	53 100.0	4 7.5	10 18.9	12 22.6	16 30.2	4 7.5	0 0.0	1 1.9	3 5.7	3 5.7
	バス利用で15分未満	40 100.0	3 7.5	5 12.5	6 15.0	3 7.5	11 27.5	6 15.0	0 0.0	3 7.5	3 7.5
	バス利用で15分以上30分未満	18 100.0	0 0.0	5 27.8	6 33.3	1 5.6	5 27.8	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	バス利用で30分以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
											同程度 28.2%

■最寄り駅までの移動手段と時間（転居前後：意図的転出世帯）〔n=274（問31の意図的転出世帯を対象）〕

	合計	Q22B 最寄り駅までの移動手段と時間（転居前後）									
		徒歩で5分未満	徒歩で5分以上10分未満	徒歩で10分以上15分未満	徒歩で15分以上	バス利用で15分未満	バス利用で15分以上30分未満	バス利用で30分以上	その他	無回答	
全体	274 100.0	31 11.3	86 31.4	66 24.1	43 15.7	21 7.7	11 4.0	1 0.4	2 0.7	13 4.7	増加 35.4%
Q22A 最寄り駅までの移動手段と時間（転居前）	徒歩で5分未満	41 100.0	9 22.0	18 43.9	7 17.1	6 14.6	1 2.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	徒歩で5分以上10分未満	87 100.0	9 10.3	35 40.2	20 23.0	8 9.2	5 5.7	4 4.6	0 0.0	1 1.1	5 5.7
	徒歩で10分以上15分未満	73 100.0	9 12.3	20 27.4	19 26.0	16 21.9	2 2.7	2 2.7	0 0.0	1 1.4	4 5.5
	徒歩で15分以上	33 100.0	2 6.1	7 21.2	10 30.3	10 30.3	2 6.1	0 0.0	1 3.0	0 0.0	1 3.0
	バス利用で15分未満	28 100.0	2 7.1	3 10.7	5 17.9	3 10.7	7 25.0	5 17.9	0 0.0	0 0.0	3 10.7
	バス利用で15分以上30分未満	12 100.0	0 0.0	3 25.0	5 41.7	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	バス利用で30分以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
											同程度 29.2%

問23. 住宅の所有関係及び建て方について教えてください。〔〇は1つ〕

①転居前

○全体では、借家（アパート・マンション等）が最も多く約64%、次いで給与住宅（社宅など）が約15%となっている。持ち家と借家の2区分で見ると、持ち家が18%、借家が約82%となっている。意図的転出世帯では、持ち家が約20%、借家が約80%となっている。

■住宅の所有関係と建て方（転居前）〔n=422〕

		合計	Q23A 住宅の所有関係と建て方（転居前）					
			持ち家（戸建て）	持ち家（マンション等）	借家（戸建て）	借家（アパート・マンション等）	給与住宅（社宅など）	無回答
全体		422 100.0	21 5.0	55 13.0	13 3.1	268 63.5	63 14.9	2 0.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	6 4.1	16 11.0	2 1.4	90 62.1	30 20.7	1 0.7
	意図的転出世帯	274 100.0	15 5.5	39 14.2	11 4.0	177 64.6	31 11.3	1 0.4
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0

②転居後

○全体では、借家（アパート・マンション等）と持ち家（戸建て）が約32%となっている。持ち家と借家の2区分で見ると、持ち家が約51%、借家が約47%となっている。意図的転出世帯では、持ち家（戸建て）が最も多く約43%、次いで持ち家（マンション等）が約25%となり、持ち家が約68%を占める。

■住宅の所有関係と建て方（転居後）〔n=422〕

		合計	Q23B 住宅の所有関係と建て方（転居後）					
			持ち家（戸建て）	持ち家（マンション等）	借家（戸建て）	借家（アパート・マンション等）	給与住宅（社宅など）	無回答
全体		422 100.0	134 31.8	79 18.7	22 5.2	135 32.0	43 10.2	9 2.1
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	15 10.3	9 6.2	13 9.0	70 48.3	34 23.4	4 2.8
	意図的転出世帯	274 100.0	118 43.1	68 24.8	9 3.3	65 23.7	9 3.3	5 1.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

③転居前後

○全体では、持ち家と借家の2区分で見ると、借家から借家の世帯が約41%で最も多く、次いで借家から持ち家が約39%、持ち家から持ち家が約11%、持ち家から借家が約6%となっている。意図的転出世帯では、借家から持ち家が約53%で過半数を占めている。次いで借家から借家が約26%、持ち家から持ち家が約15%、持ち家から借家が約4%となっている。

■住宅の所有関係と建て方（転居前後）〔n=422〕

		合計	Q23B 住宅の所有関係と建て方（転居後）					無回答
			持ち家（戸建て）	持ち家（マンション等）	借家（戸建て）	借家（アパート・マンション等）	給与住宅（社宅など）	
全体		422 100.0	134 31.8	79 18.7	22 5.2	135 32.0	43 10.2	9 2.1
Q23A 住宅の所有関係と建て方（転居前）	持ち家（戸建て）	21 100.0	13 61.9	1 4.8	1 4.8	4 19.0	1 4.8	1 4.8
	持ち家（マンション等）	55 100.0	19 34.5	13 23.6	3 5.5	15 27.3	2 3.6	3 5.5
	借家（戸建て）	13 100.0	6 46.2	2 15.4	3 23.1	0 0.0	0 0.0	2 15.4
	借家（アパート・マンション等）	268 100.0	76 28.4	54 20.1	12 4.5	107 39.9	17 6.3	2 0.7
	給与住宅（社宅など）	63 100.0	19 30.2	9 14.3	3 4.8	9 14.3	23 36.5	0 0.0
	無回答	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

持ち家→持ち家 10.9%

持ち家→借家 6.2%

借家→持ち家 39.3%

借家→借家 41.2%

■住宅の所有関係と建て方（転居前後：意図的転出世帯）〔n=274（問31の意図的転出世帯を対象）〕

		合計	Q23B 住宅の所有関係と建て方（転居後）					無回答
			持ち家（戸建て）	持ち家（マンション等）	借家（戸建て）	借家（アパート・マンション等）	給与住宅（社宅など）	
全体		274 100.0	118 43.1	68 24.8	9 3.3	65 23.7	9 3.3	5 1.8
Q23A 住宅の所有関係と建て方（転居前）	持ち家（戸建て）	15 100.0	11 73.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	0 0.0	1 6.7
	持ち家（マンション等）	39 100.0	18 46.2	10 25.6	2 5.1	7 17.9	0 0.0	2 5.1
	借家（戸建て）	11 100.0	6 54.5	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	2 18.2
	借家（アパート・マンション等）	177 100.0	64 36.2	48 27.1	4 2.3	56 31.6	5 2.8	0 0.0
	給与住宅（社宅など）	31 100.0	18 58.1	7 22.6	1 3.2	1 3.2	4 12.9	0 0.0
	無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

持ち家→持ち家 14.6%

持ち家→借家 4.0%

借家→持ち家 52.9%

借家→借家 26.3%

問24. 問23. で「4. 借家（アパート・マンション等）」を選んだ方※にうかがいます。借家（アパート・マンション等）の種類について教えてください。〔〇は1つ〕

※問23で転居前・転居後のどちらか又は両方を選んだ方

①転居前

〇全体では、民間アパート・マンションが約91%で大半を占める。公営住宅の世帯はない。意図的転出世帯では、公社・URなどの公的賃貸住宅がやや多い。

■借家の種類（転居前）〔n=268（問23の転居前の借家（アパート・マンション等）の268サンプルを対象）〕

		合計	Q24A 借家の種類（転居前）					
			民間アパート・マンション	公営住宅	公社・URなどの公的賃貸住宅	その他	無回答	非該当
全体		268 100.0	245 91.4	0 0.0	15 5.6	2 0.7	6 2.2	154
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	90 100.0	87 96.7	0 0.0	3 3.3	0 0.0	0 0.0	55
	意図的転出世帯	177 100.0	157 88.7	0 0.0	12 6.8	2 1.1	6 3.4	97
	無回答	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2

②転居後

〇全体では、民間アパート・マンションが約89%で大半を占める。意図的転出世帯では、公社・URなどの公的賃貸住宅が全体に比してやや多い。

■借家の種類（転居後）〔n=135（問23の転居後の借家（アパート・マンション等）の135サンプルを対象）〕

		合計	Q24B 借家の種類（転居後）					
			民間アパート・マンション	公営住宅	公社・URなどの公的賃貸住宅	その他	無回答	非該当
全体		135 100.0	120 88.9	1 0.7	11 8.1	0 0.0	3 2.2	287
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	70 100.0	65 92.9	0 0.0	2 2.9	0 0.0	3 4.3	75
	意図的転出世帯	65 100.0	55 84.6	1 1.5	9 13.8	0 0.0	0 0.0	209
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3

③転居前後

○全体では、転居前に民間アパート・マンションであった世帯の約94%が転居後も民間アパート・マンションへととなり、公社・URなどの公的賃貸住宅への転居は少数である。サンプル数は少ないが転居前に公的賃貸住宅であった世帯は、転居後も公的賃貸住宅となっている世帯のほうが多い。意図的転出世帯でも、民間アパート・マンションから民間アパート・マンションが大勢である。サンプル数が少ないものの、公社・URなどの公的賃貸住宅からは同種類の公的賃貸住宅が志向されている。

■借家の種類（転居前後）〔n=135（問23の転居後の借家（アパート・マンション等）の135サンプルを対象）〕

	合計	Q24B 借家の種類（転居後）						
		民間アパート・マンション	公営住宅	公社・URなどの公的賃貸住宅	その他	無回答	非該当	
全体	135 100.0	120 88.9	1 0.7	11 8.1	0 0.0	3 2.2	287	
Q24A 借家の種類（転居前）	民間アパート・マンション	100 100.0	94 94.0	0 0.0	6 6.0	0 0.0	0 0.0	145
	公営住宅	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	公社・URなどの公的賃貸住宅	7 100.0	3 42.9	0 0.0	4 57.1	0 0.0	0 0.0	8
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6
	非該当	28 100.0	23 82.1	1 3.6	1 3.6	0 0.0	3 10.7	126

■借家の種類（転居前後：意図的転出世帯）〔n=65（問23の転居後の借家（アパート・マンション等）の135サンプルのうち、問31の意図的転出世帯を対象）〕

	合計	Q24B 借家の種類（転居後）						
		民間アパート・マンション	公営住宅	公社・URなどの公的賃貸住宅	その他	無回答	非該当	
全体	65 100.0	55 84.6	1 1.5	9 13.8	0 0.0	0 0.0	209	
Q24A 借家の種類（転居前）	民間アパート・マンション	51 100.0	46 90.2	0 0.0	5 9.8	0 0.0	0 0.0	106
	公営住宅	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	公社・URなどの公的賃貸住宅	5 100.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	7
	その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6
	非該当	9 100.0	8 88.9	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	88

問25. 問23. で転居後に「1. 持ち家（戸建て）」「2. 持ち家（マンション等）」を選んだ方
 にかがいます。今回取得した住宅の価格（土地と建物価格の合計）を教えてください。〔数字を
 記入〕

※諸費用、税金、リフォーム費用などを含まない。

○全体では、回答は4,000万円以上4,500万円未満が最も多く約13%となっているが、1,000万円ごとに区分すれば、4,000万円台が約25%、次いで3,000万円台が約20%となる。3,000万円未満も約11%、反対に7,000万円以上も約10%と多岐に渡る。意図的転出世帯では、高価格帯の比率が全体より高い。

■転居後の住宅価格〔n=213（問23の転居後の持ち家（戸建て）134サンプル+持ち家（マンション等）の79サンプルの合計213サンプルを対象）〕

		合計	NQ25 転居後の住宅価格							
			3,000万円未満	3,000万円以上 3,500万円未満	3,500万円以上 4,000万円未満	4,000万円以上 4,500万円未満	4,500万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上 5,500万円未満	5,500万円以上 6,000万円未満	6,000万円以上 7,000万円未満
全体		213 100.0	23 10.8	22 10.3	20 9.4	28 13.1	26 12.2	14 6.6	14 6.6	17 8.0
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	24 100.0	6 25.0	4 16.7	0 0.0	2 8.3	2 8.3	0 0.0	2 8.3	0 0.0
	意図的転出世帯	186 100.0	16 8.6	18 9.7	18 9.7	26 14.0	24 12.9	14 7.5	12 6.5	17 9.1
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	NQ25 転居後の住宅価格			
			7,000万円以上	無回答	非該当	平均
全体		213 100.0	22 10.3	27 12.7	209	4630.00
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	24 100.0	1 4.2	7 29.2	121	3392.35
	意図的転出世帯	186 100.0	21 11.3	20 10.8	88	4794.04
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0	2566.67

問26. 問23. で「1. 持ち家（戸建て）」「2. 持ち家（マンション等）」を選んだ方※にうかがいます。年間の住宅ローン返済額（管理費、修繕積立金、リフォーム費用を含まない）を教えてください。〔年額を記入〕

※問23で転居前・転居後のどちらか又は両方を選んだ方

※ローンの無い方は0と記入してください。

①転居前（特殊値処理後）

○全体では、8万円未満が最も多く約22%、12万円未満までで約54%となっている。意図的転出世帯では、8万円未満が約30%と全体よりも高くなり、12万円未満までで約59%を占めている。また、平均値は6.8万円と全体に比してローン返済額は低い傾向にある。

■持ち家の住宅ローン返済月※額（転居前）〔n=76（問23の転居前の持ち家（戸建て）21サンプル+持ち家（マンション等）の55サンプルの合計76サンプルを対象）〕※年額回答を12で除し月額に換算。特殊値と考えられるサンプルを含まない。

		合計	NQ26A(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居前）							
			8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上
全体		76 100.0	17 22.4	13 17.1	11 14.5	4 5.3	3 3.9	4 5.3	0 0.0	1 1.3
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	22 100.0	1 4.5	4 18.2	4 18.2	1 4.5	1 4.5	3 13.6	0 0.0	1 4.5
	意図的転出世帯	54 100.0	16 29.6	9 16.7	7 13.0	3 5.6	2 3.7	1 1.9	0 0.0	0 0.0
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	NQ26A(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居前）		
			無回答	非該当	平均
全体		76 100.0	23 30.3	346	8.37
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	22 100.0	7 31.8	123	12.25
	意図的転出世帯	54 100.0	16 29.6	220	6.84
	無回答	0 0.0	0 0.0	3	-

②転居後

○全体では、8万円未満が最も多く約19%、12万円未満までで約40%となっている。意図的転出世帯では、8万円未満が約15%と全体よりも低くなり、12万円未満までで約39%、20万円以上の負担も多くみられる。平均値も全体に比して高いなどと全体に比してローン返済額は高い傾向となっている。

■持ち家の住宅ローン返済月*額（転居後）〔n=213（問23の転居後の持ち家（戸建て）134サンプル+持ち家（マンション等）の79サンプルの合計213サンプルを対象）〕※年額回答を12で除し月額に換算。特殊値と考えられるサンプルを除く。

		合計	NQ26B(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居後）							
			8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上
全体		213 100.0	40 18.8	16 7.5	30 14.1	24 11.3	13 6.1	13 6.1	3 1.4	8 3.8
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	24 100.0	12 50.0	2 8.3	0 0.0	2 8.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2
	意図的転出世帯	186 100.0	28 15.1	14 7.5	30 16.1	22 11.8	12 6.5	12 6.5	3 1.6	7 3.8
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

		合計	NQ26B(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居後）		
			無回答	非該当	平均
全体		213 100.0	66 31.0	209	10.26
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	24 100.0	6 25.0	121	5.67
	意図的転出世帯	186 100.0	58 31.2	88	10.85
	無回答	3 100.0	2 66.7	0	16.67

③転居前後（特殊値処理後）

○全体では、ローン返済額が増えた世帯は 37%、減った世帯は約 15%、同程度の世帯は約 17% となっている。持ち家から持ち家への転居の多くは意図的転出世帯である。意図的転出世帯では、ローン返済額が増えた世帯は 40%、減った世帯は 10%となっている。

■持ち家の住宅ローン返済月*額（転居前後）〔n=46（問23の転居前持ち家かつ転居後持ち家の46サンプルを対象）〕※年額回答を12で除し月額に換算。特殊値と考えられるサンプルを除く。

		NQ26B(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居後）										
		合計	8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上	無回答	平均
全体		46 100.0	10 21.7	3 6.5	5 10.9	5 10.9	2 4.3	3 6.5	1 2.2	3 6.5	14 30.4	10.26
NQ26A(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居前）	8万円未満	13 100.0	5 38.5	1 7.7	3 23.1	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	6.45
	8万円以上10万円未満	7 100.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	10.51
	10万円以上12万円未満	7 100.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	11.70
	12万円以上14万円未満	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	20.39
	14万円以上16万円未満	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11.11
	16万円以上18万円未満	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7.50
	18万円以上20万円未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-
	20万円以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-
	無回答	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	12

増加 37.0%

減少 15.2%

同程度 17.4%

■持ち家の住宅ローン返済月*額（転居前後：意図的転出世帯）〔n=40（問23の転居前持ち家かつ転居後持ち家の46サンプルのうち、問31の意図的転出世帯を対象）〕※年額回答を12で除し月額に換算。特殊値と考えられるサンプルを含まない。

		NQ26B(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居後）										
		合計	8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上	無回答	平均
全体		40 100.0	7 17.5	3 7.5	5 12.5	5 12.5	1 2.5	3 7.5	2 5.0	2 5.0	13 32.5	10.85
NQ26A(M) 持ち家の住宅ローン返済月額（転居前）	8万円未満	13 100.0	5 38.5	1 7.7	3 23.1	2 15.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	6.45
	8万円以上10万円未満	6 100.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	12.26
	10万円以上12万円未満	6 100.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	13.66
	12万円以上14万円未満	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	18.09
	14万円以上16万円未満	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9.58
	16万円以上18万円未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-
	18万円以上20万円未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-
	20万円以上	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-
	無回答	11 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0	11

増加 40.0%

減少 10.0%

同程度 17.5%

問27. 問23. で「3. 借家（戸建て）」「4. 借家（アパート・マンション等）」「5. 給与住宅（社宅など）」を選んだ方※にうかがいます。1か月当たりの住宅の家賃額（管理費、共益費を含まない）を教えてください。〔月額家賃を記入〕

※問23で転居前・転居後のどちらか又は両方を選んだ方

①転居前

○全体では、8万円以上10万円未満が最も多く約17%、次いで8万円未満であり、14万円未満までで約65%を占める。意図的転出世帯でも、8万円以上10万円未満が最も多く約19%となっている。

■借家の月額家賃（転居前）〔n=344（問23の転居前の借家（戸建て）13サンプル+借家（アパート・マンション等）268サンプル+給与住宅（社宅など）の63サンプルの合計344サンプルを対象）〕

		合計	NQ27A 借家の月額家賃（転居前）							
			8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上
全体		344 100.0	57 16.6	59 17.2	55 16.0	53 15.4	21 6.1	9 2.6	9 2.6	9 2.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	122 100.0	19 15.6	17 13.9	19 15.6	17 13.9	14 11.5	4 3.3	3 2.5	2 1.6
	意図的転出世帯	219 100.0	36 16.4	41 18.7	36 16.4	36 16.4	7 3.2	5 2.3	6 2.7	7 3.2
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	NQ27A 借家の月額家賃（転居前）		
			無回答	非該当	平均
全体		344 100.0	72 20.9	78	10.80
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	122 100.0	27 22.1	23	10.76
	意図的転出世帯	219 100.0	45 20.5	55	10.91
	無回答	3 100.0	0 0.0	0	5.50

②転居後

○全体では、8万円未満が最も多く約30%を占め、16万円以上は少ない。意図的転出世帯でも、8万円未満が多い傾向はあるが、14万円以上の家賃帯の比率が全体より高い。

■借家の月額家賃（転居後）〔n=200（問23の転居後の借家（戸建て）22サンプル+借家（アパート・マンション等）135サンプル+給与住宅（社宅など）の43サンプルの合計200サンプルを対象）〕

		合計	NQ27B 借家の月額家賃（転居後）							
			8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上
全体		200 100.0	59 29.5	36 18.0	26 13.0	22 11.0	13 6.5	6 3.0	4 2.0	1 0.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	117 100.0	35 29.9	24 20.5	15 12.8	14 12.0	6 5.1	1 0.9	0 0.0	0 0.0
	意図的転出世帯	83 100.0	24 28.9	12 14.5	11 13.3	8 9.6	7 8.4	5 6.0	4 4.8	1 1.2
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	NQ27B 借家の月額家賃（転居後）		
			無回答	非該当	平均
全体		200 100.0	33 16.5	222	9.41
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	117 100.0	22 18.8	28	8.69
	意図的転出世帯	83 100.0	11 13.3	191	10.36
	無回答	0 0.0	0 0.0	3	-

③転居前後

○全体では、月額家賃の増えた世帯が約 18%、減った世帯が約 37%、同程度の世帯が約 26%となっている。意図的転出世帯では、増えた世帯が約 29%と全体に比して高くなっている。

■借家の月額家賃（転居前後）〔n=174（問23の転居前借家かつ転居後借家の174サンプルを対象）〕

		NQ27B 借家の月額家賃（転居後）										
		合計	8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上	無回答	平均
全体		174 100.0	55 31.6	31 17.8	26 14.9	19 10.9	11 6.3	1 0.6	2 1.7	0 0.0	28 16.1	9.41
NQ27A 借家の月額家賃（転居前）	8万円未満	33 100.0	24 72.7	3 9.1	3 9.1	0 0.0	1 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 6.1	6.36
	8万円以上10万円未満	33 100.0	10 30.3	10 30.3	7 21.2	4 12.1	1 3.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.0	9.01
	10万円以上12万円未満	28 100.0	8 28.6	10 35.7	4 14.3	5 17.9	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8.99
	12万円以上14万円未満	30 100.0	7 23.3	6 20.0	4 13.3	5 16.7	5 16.7	0 0.0	1 3.3	0 0.0	2 6.7	10.62
	14万円以上16万円未満	11 100.0	3 27.3	0 0.0	3 27.3	4 36.4	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10.35
	16万円以上18万円未満	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	11.00
	18万円以上20万円未満	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	12.50
	20万円以上	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13.50
	無回答	27 100.0	2 7.4	1 3.7	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 85.2	7.09

増加 18.4%

減少 37.4%

同程度 25.9%

■借家の月額家賃（転居前後：意図的転出世帯）〔n=72〕

		NQ27B 借家の月額家賃（転居後）										
		合計	8万円未満	8万円以上10万円未満	10万円以上12万円未満	12万円以上14万円未満	14万円以上16万円未満	16万円以上18万円未満	18万円以上20万円未満	20万円以上	無回答	平均
全体		72 100.0	23 31.9	12 16.7	11 15.3	7 9.7	7 9.7	0 0.0	2 4.2	0 0.0	9 12.5	10.36
NQ27A 借家の月額家賃（転居前）	8万円未満	14 100.0	11 78.6	2 14.3	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6.80
	8万円以上10万円未満	22 100.0	7 31.8	6 27.3	5 22.7	2 9.1	1 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	8.94
	10万円以上12万円未満	12 100.0	3 25.0	3 25.0	3 25.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9.36
	12万円以上14万円未満	14 100.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	2 14.3	5 35.7	0 0.0	1 7.1	0 0.0	1 7.1	12.44
	14万円以上16万円未満	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-
	16万円以上18万円未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	19.00
	18万円以上20万円未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	18.00
	20万円以上	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10.50
	無回答	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 100.0	-

増加 29.2%

減少 26.4%

同程度 31.9%

問28. 住宅の築年数を教えてください。〔〇は1つ〕

①転居前

○全体では、築11～20年が最も多く約26%、次いで築21～35年の約23%となっている。1年未満の新築は約7%、36年以上の旧耐震の住宅は約6%となっている。意図的転出世帯では、築36年以上の比率が全体より高く、1年未満はやや低い。

■住宅の築年数（転居前）〔n=422〕

		合計	Q28A 住宅の築年数（転居前）							
			1年未満	1年～5年 (2013～2016年の建築)	6年～10年 (2008～2012年の建築)	11年～20年 (1998～2007年の建築)	21年～35年 (1982～1997年の建築)	36年以上 (1981年以前の建築)	わからない	無回答
全体		422 100.0	30 7.1	61 14.5	57 13.5	111 26.3	95 22.5	27 6.4	30 7.1	11 2.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	11 7.6	27 18.6	13 9.0	36 24.8	37 25.5	7 4.8	11 7.6	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	18 6.6	33 12.0	44 16.1	75 27.4	57 20.8	20 7.3	19 6.9	8 2.9
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

②転居後

○全体では、1年未満の新築が約36%で、次いで比率の高い築11～20年のおよそ2倍の比率となっている。意図的転出世帯では、新築がいつも高く約46%を占めている。

■住宅の築年数（転居後）〔n=422〕

		合計	Q28B 住宅の築年数（転居後）							
			1年未満	1年～5年 (2013～2016年の建築)	6年～10年 (2008～2012年の建築)	11年～20年 (1998～2007年の建築)	21年～35年 (1982～1997年の建築)	36年以上 (1981年以前の建築)	わからない	無回答
全体		422 100.0	150 35.5	33 7.8	48 11.4	72 17.1	70 16.6	20 4.7	16 3.8	13 3.1
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	24 16.6	12 8.3	26 17.9	30 20.7	33 22.8	6 4.1	8 5.5	6 4.1
	意図的転出世帯	274 100.0	126 46.0	20 7.3	22 8.0	42 15.3	35 12.8	14 5.1	8 2.9	7 2.6
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

③転居前後

○全体では、転居前よりも築年数の新しい住宅となった世帯は約47%、古い住宅となった世帯は約19%、同程度は約20%となっている。意図的転出世帯では、新しい住宅となった世帯が約54%と過半を占めている。

■住宅の築年数（転居前後）〔n=422〕

		合計	Q28B 住宅の築年数（転居後）							わからない	無回答
			1年未満	1年～5年 (2013～2016年の建築)	6年～10年 (2008～2012年の建築)	11年～20年 (1998～2007年の建築)	21年～35年 (1982～1997年の建築)	36年以上 (1981年以前の建築)			
全体		422 100.0	150 35.5	33 7.8	48 11.4	72 17.1	70 16.6	20 4.7	16 3.8	13 3.1	増加19.4%
Q28A 住宅の築年数（転居前）	1年未満	30 100.0	12 40.0	3 10.0	4 13.3	2 6.7	4 13.3	0 0.0	2 6.7	3 10.0	
	1年～5年（2013～2016年の建築）	61 100.0	23 37.7	5 8.2	9 14.8	10 16.4	8 13.1	3 4.9	2 3.3	1 1.6	
	6年～10年（2008～2012年の建築）	57 100.0	25 43.9	7 12.3	7 12.3	9 15.8	7 12.3	0 0.0	1 1.8	1 1.8	
	11年～20年（1998～2007年の建築）	111 100.0	39 35.1	13 11.7	10 9.0	27 24.3	12 10.8	6 5.4	4 3.6	0 0.0	
	21年～35年（1982～1997年の建築）	95 100.0	30 31.6	2 2.1	12 12.6	13 13.7	29 30.5	5 5.3	3 3.2	1 1.1	
	36年以上（1981年以前の建築）	27 100.0	11 40.7	0 0.0	1 3.7	6 22.2	5 18.5	4 14.8	0 0.0	0 0.0	
	わからない	30 100.0	7 23.3	2 6.7	5 16.7	4 13.3	5 16.7	2 6.7	4 13.3	1 3.3	
	無回答	11 100.0	3 27.3	1 9.1	0	1	0	0	0	6	減少46.7%
											同程度19.9%

■住宅の築年数（転居前後：意図的転出世帯）〔n=274（問31の意図的転出世帯を対象）〕

		合計	Q28B 住宅の築年数（転居後）							わからない	無回答
			1年未満	1年～5年 (2013～2016年の建築)	6年～10年 (2008～2012年の建築)	11年～20年 (1998～2007年の建築)	21年～35年 (1982～1997年の建築)	36年以上 (1981年以前の建築)			
全体		274 100.0	126 46.0	20 7.3	22 8.0	42 15.3	35 12.8	14 5.1	8 2.9	7 2.6	増加16.8%
Q28A 住宅の築年数（転居前）	1年未満	18 100.0	8 44.4	1 5.6	3 16.7	1 5.6	3 16.7	0 0.0	1 5.6	1 5.6	
	1年～5年（2013～2016年の建築）	33 100.0	19 57.6	2 6.1	2 6.1	4 12.1	3 9.1	2 6.1	0 0.0	1 3.0	
	6年～10年（2008～2012年の建築）	44 100.0	21 47.7	4 9.1	5 11.4	8 18.2	5 11.4	0 0.0	0 0.0	1 2.3	
	11年～20年（1998～2007年の建築）	75 100.0	32 42.7	9 12.0	6 8.0	14 18.7	7 9.3	4 5.3	3 4.0	0 0.0	
	21年～35年（1982～1997年の建築）	57 100.0	27 47.4	1 1.8	4 7.0	9 15.8	12 21.1	3 5.3	1 1.8	0 0.0	
	36年以上（1981年以前の建築）	20 100.0	11 55.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	2 10.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	
	わからない	19 100.0	6 31.6	2 10.5	2 10.5	1 5.3	3 15.8	2 10.5	3 15.8	0 0.0	
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	0	1	0	0	0	4	減少54.4%
											同程度16.1%

問29. 住宅の広さを教えてください。〔数字を記入〕

①転居前

○全体では、50㎡以上60㎡未満が最も多く約21%、次いで60㎡以上70㎡未満が約16%となっている。90㎡以上がある一方、25㎡未満の住宅もある。意図的転出世帯では、50㎡以上60㎡未満の約20%が最も多い面積帯であることは全体と同様であるが、30㎡以上40㎡未満や40㎡以上50㎡未満の面積帯の比率が全体よりもやや高い。

■住宅の広さ/㎡（転居前）〔n=422〕

		合計	NQ29A-1 住宅の広さ/㎡（転居前）							
			25㎡未満	25㎡以上 30㎡未満	30㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 50㎡未満	50㎡以上 60㎡未満	60㎡以上 70㎡未満	70㎡以上 80㎡未満	80㎡以上 90㎡未満
全体		422 100.0	2 0.5	1 0.2	16 3.8	47 11.1	88 20.9	66 15.6	56 13.3	28 6.6
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	1 0.7	0 0.0	2 1.4	13 9.0	30 20.7	28 19.3	21 14.5	9 6.2
	意図的転出世帯	274 100.0	1 0.4	1 0.4	14 5.1	34 12.4	56 20.4	38 13.9	35 12.8	19 6.9
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	NQ29A-1 住宅の広さ/㎡（転居前）		
			90㎡以上	無回答	平均
全体		422 100.0	34 8.1	84 19.9	64.77
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	14 9.7	27 18.6	65.93
	意図的転出世帯	274 100.0	19 6.9	57 20.8	63.99
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	75.67

②転居後

○全体では、90㎡以上が最も多く約29%、次いで70㎡以上80㎡未満が約22%となっている。
50㎡未満の面積帯は少数であるが、25㎡未満が2世帯ある。意図的転出世帯では、90㎡以上が約35%を占め、全体よりも高くなっている。

■住宅の広さ/㎡（転居後）〔n=422〕

		合計	NQ29B-1 住宅の広さ/㎡（転居後）							
			25㎡未満	25㎡以上 30㎡未満	30㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 50㎡未満	50㎡以上 60㎡未満	60㎡以上 70㎡未満	70㎡以上 80㎡未満	80㎡以上 90㎡未満
全体		422 100.0	2 0.5	0 0.0	4 0.9	9 2.1	25 5.9	53 12.6	93 22.0	41 9.7
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	1 0.7	0 0.0	0 0.0	2 1.4	9 6.2	23 15.9	41 28.3	15 10.3
	意図的転出世帯	274 100.0	1 0.4	0 0.0	4 1.5	7 2.6	16 5.8	29 10.6	51 18.6	26 9.5
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0

		合計	NQ29B-1 住宅の広さ/㎡ （転居後）		
			90㎡以上	無回答	平均
全体		422 100.0	121 28.7	74 17.5	85.47
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	26 17.9	28 19.3	79.94
	意図的転出世帯	274 100.0	95 34.7	45 16.4	88.45
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	68.50

③転居前後

○全体では、転居前よりも広くなった世帯は約55%、狭くなった世帯は約9%、同程度は約15%となっている。転居前に25㎡未満であった世帯は転居后面積の増加がみられない。意図的転出世帯では、広くなった世帯は約58%と、全体に比して高くなっており、中でも転居前に70～80㎡の世帯が、90㎡以上となる住み替えパターンが最も多い。

■住宅の広さ/㎡（転居前後）〔n=422〕

		NQ29B-1 住宅の広さ/㎡（転居後）											
		合計	25㎡未満	25㎡以上 30㎡未満	30㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 50㎡未満	50㎡以上 60㎡未満	60㎡以上 70㎡未満	70㎡以上 80㎡未満	80㎡以上 90㎡未満	90㎡以上	無回答	平均
全体		422 100.0	2 0.5	0 0.0	4 0.9	9 2.1	25 5.9	53 12.6	93 22.0	41 9.7	121 28.7	74 17.5	85.47
NQ29A-1 住宅の広さ/㎡（転居前）	25㎡未満	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.00						
	25㎡以上30㎡未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	40.00
	30㎡以上40㎡未満	16 100.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	1 6.3	3 18.8	0 0.0	4 25.0	1 6.3	4 25.0	1 6.3	70.34
	40㎡以上50㎡未満	47 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.1	3 6.4	8 17.0	12 25.5	9 19.1	5 10.6	8 17.0	1 2.1	70.46
	50㎡以上60㎡未満	88 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.4	7 8.0	12 13.6	33 37.5	9 10.2	23 26.1	1 1.1	83.35
	60㎡以上70㎡未満	66 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	4 6.1	11 16.7	29 43.9	8 12.1	13 19.7	0 0.0	78.63
	70㎡以上80㎡未満	56 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	10 17.9	10 17.9	9 16.1	25 44.6	1 1.8	98.48
	80㎡以上90㎡未満	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 14.3	5 17.9	3 10.7	15 53.6	1 3.6	94.53
	90㎡以上	34 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.9	3 8.8	1 2.9	4 11.8	23 67.6	1 2.9	103.17
	無回答	84 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.2	0 0.0	0 0.0	1 1.2	2 2.4	2 2.4	2 11.9	10 68	99.66
													増加 55.0%
													減少 9.2%
													同程度 14.5%

■住宅の広さ/㎡（転居前後：意図的転出世帯）〔n=274（問31の意図的転出世帯を対象）〕

		NQ29B-1 住宅の広さ/㎡（転居後）											
		合計	25㎡未満	25㎡以上 30㎡未満	30㎡以上 40㎡未満	40㎡以上 50㎡未満	50㎡以上 60㎡未満	60㎡以上 70㎡未満	70㎡以上 80㎡未満	80㎡以上 90㎡未満	90㎡以上	無回答	平均
全体		274 100.0	1 0.4	0 0.0	4 1.5	7 2.6	16 5.8	29 10.6	51 18.6	26 9.5	95 34.7	45 16.4	88.45
NQ29A-1 住宅の広さ/㎡（転居前）	25㎡未満	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.00						
	25㎡以上30㎡未満	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	40.00
	30㎡以上40㎡未満	14 100.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	0 0.0	4 28.6	1 7.1	4 28.6	0 0.0	71.14
	40㎡以上50㎡未満	34 100.0	0 0.0	0 0.0	1 2.9	2 5.9	7 20.6	7 20.6	6 17.6	4 11.8	6 17.6	1 2.9	69.76
	50㎡以上60㎡未満	56 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 3.6	4 7.1	5 8.9	20 35.7	7 12.5	18 32.1	0 0.0	85.10
	60㎡以上70㎡未満	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	3 7.9	6 15.8	13 34.2	4 10.5	11 28.9	0 0.0	81.06
	70㎡以上80㎡未満	35 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 17.1	3 8.6	5 14.3	20 57.1	1 2.9	109.49
	80㎡以上90㎡未満	19 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.8	2 10.5	1 5.3	12 63.2	1 5.3	100.41
	90㎡以上	19 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.3	1 5.3	3 15.8	14 73.7	0 0.0	106.64
	無回答	57 100.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	0 0.0	0 0.0	1 1.8	2 3.5	1 1.8	10 17.5	42 73.7	100.97
													増加 57.7%
													減少 8.4%
													同程度 12.0%

問30. 住宅の間取りを教えてください。〔〇は1つ〕

※本設問は、独立した居室（寝室）数（●LDK等の●の数字）を把握することを目的としています。

①転居前

○全体では、独立した居室が2居室の世帯が約43%と最も多く、次いで3居室の世帯が約32%となっている1居室が約16%ある。意図的転出世帯では、1居室の比率が全体よりやや高い。

■住宅の間取り（転居前）〔n=422〕

		合計	Q30A 住宅の間取り（転居前）						
			ワンルーム・1 K・1D K・1L DK	2K・2 DK・2 LDK	3K・3 DK・3 LDK	4K・4 DK・4 LDK	5K以上	その他	無回答
全体		422 100.0	66 15.6	181 42.9	134 31.8	27 6.4	5 1.2	2 0.5	7 1.7
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	21 14.5	58 40.0	52 35.9	11 7.6	1 0.7	0 0.0	2 1.4
	意図的転出世帯	274 100.0	44 16.1	122 44.5	81 29.6	16 5.8	4 1.5	2 0.7	5 1.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

②転居後

○全体では、独立した居室が3居室の世帯が約51%と過半数となるが、1居室の世帯もある。意図的転出世帯では、4居室や5居室の世帯が全体より高くなっている。

■住宅の間取り（転居後）〔n=422〕

		合計	Q30B 住宅の間取り（転居後）						
			ワンルーム・1 K・1D K・1L DK	2K・2 DK・2 LDK	3K・3 DK・3 LDK	4K・4 DK・4 LDK	5K以上	その他	無回答
全体		422 100.0	5 1.2	95 22.5	215 50.9	77 18.2	25 5.9	1 0.2	4 0.9
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	2 1.4	39 26.9	79 54.5	16 11.0	7 4.8	1 0.7	1 0.7
	意図的転出世帯	274 100.0	3 1.1	56 20.4	134 48.9	61 22.3	17 6.2	0 0.0	3 1.1
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

③転居前後

○全体では、独立した居室が増えた世帯は約55%、減った世帯は約8%、同程度の世帯が約35%となっている。転居前に1居室であった世帯の大半は2居室以上に増えているが、4世帯(約6%)は増加せず1居室のままに留まっている。意図的転出世帯では、居室が増えた世帯は約61%と全体に比して高くなっている。

■住宅の間取り(転居前後) [n=422]

	合計	Q30B 住宅の間取り(転居後)						
		ワンルーム・1K・1LDK	2K・2DK・2LDK	3K・3DK・3LDK	4K・4DK・4LDK	5K以上	その他	無回答
全体	422 100.0	5 1.2	95 22.5	215 50.9	77 18.2	25 5.9	1 0.2	4 0.9
Q30A 住宅の間取り(転居前)	ワンルーム・1K・1LDK	66 100.0	4 6.1	27 40.9	24 36.4	9 13.6	2 3.0	0 0.0
	2K・2DK・2LDK	181 100.0	1 0.6	48 26.5	92 50.8	27 14.9	11 6.1	1 0.6
	3K・3DK・3LDK	134 100.0	0 0.0	15 11.2	83 61.9	30 22.4	6 4.5	0 0.0
	4K・4DK・4LDK	27 100.0	0 0.0	3 11.1	12 44.4	9 33.3	3 11.1	0 0.0
	5K以上	5 100.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	7 100.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	3 42.9

増加 54.7%

減少 8.1%

同程度 34.6%

■住宅の間取り(転居前後:意図的転出世帯) [n=274 (問31の意図的転出世帯を対象)]

	合計	Q30B 住宅の間取り(転居後)						
		ワンルーム・1K・1LDK	2K・2DK・2LDK	3K・3DK・3LDK	4K・4DK・4LDK	5K以上	その他	無回答
全体	274 100.0	3 1.1	56 20.4	134 48.9	61 22.3	17 6.2	0 0.0	3 1.1
Q30A 住宅の間取り(転居前)	ワンルーム・1K・1LDK	44 100.0	2 4.5	18 40.9	15 34.1	8 18.2	1 2.3	0 0.0
	2K・2DK・2LDK	122 100.0	1 0.8	26 21.3	66 54.1	22 18.0	6 4.9	1 0.8
	3K・3DK・3LDK	81 100.0	0 0.0	9 11.1	43 53.1	24 29.6	5 6.2	0 0.0
	4K・4DK・4LDK	16 100.0	0 0.0	2 12.5	6 37.5	6 37.5	2 12.5	0 0.0
	5K以上	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0

増加 60.9%

減少 7.3%

同程度 28.8%

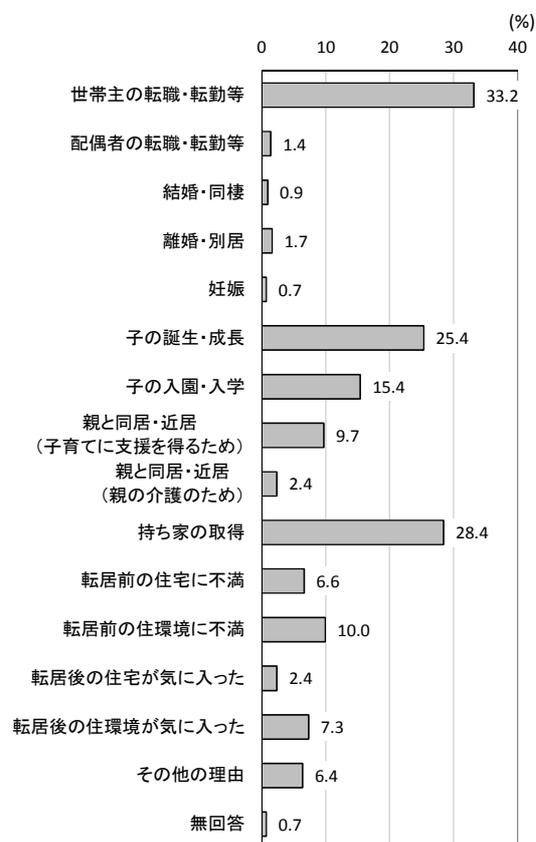
4. 今回の転居のきっかけや理由についてうかがいます。

問3 1. 今回の転居のきっかけや理由を教えてください。〔以下の1.～15.のうち、2つまで○をしてください〕

○世帯主の転職・転勤等が最も多く約33%、次いで持ち家の取得が約28%、子の誕生・成長が約25%となっている。また、職務理由転出世帯は約34%、意図的転出世帯は約65%となっている。
○転居後の住宅や住環境が気に入って住み替えるケースよりも、転居前の住宅や住環境に不満を持って住み替えた世帯の方が多い。近居・同居関連でみると、「子育ての支援を得るため」は約10%で、「親の介護のため」は約2%となっており、子育てのために近居・同居するケースの方が多い。

■転居のきっかけや理由（GT）〔n=422〕

No.	カテゴリー名	n	全体 %	除無 %
1	世帯主の転職・転勤等	140	33.2	33.4
2	配偶者の転職・転勤等	6	1.4	1.4
3	結婚・同棲	4	0.9	1.0
4	離婚・別居	7	1.7	1.7
5	妊娠	3	0.7	0.7
6	子の誕生・成長	107	25.4	25.5
7	子の入園・入学	65	15.4	15.5
8	親と同居・近居（子育てに支援を得るため）	41	9.7	9.8
9	親と同居・近居（親の介護のため）	10	2.4	2.4
10	持ち家の取得	120	28.4	28.6
11	転居前の住宅に不満	28	6.6	6.7
12	転居前の住環境に不満	42	10.0	10.0
13	転居後の住宅が気に入った	10	2.4	2.4
14	転居後の住環境が気に入った	31	7.3	7.4
15	その他の理由	27	6.4	6.4
	無回答	3	0.7	
	全体	422	100.0	419



問3 2. 転居先の住宅を選んだ理由を教えてください。〔以下の1.～24.のうち、4つまで○をしてください。そのうち、最も重視した理由は◎にしてください。〕

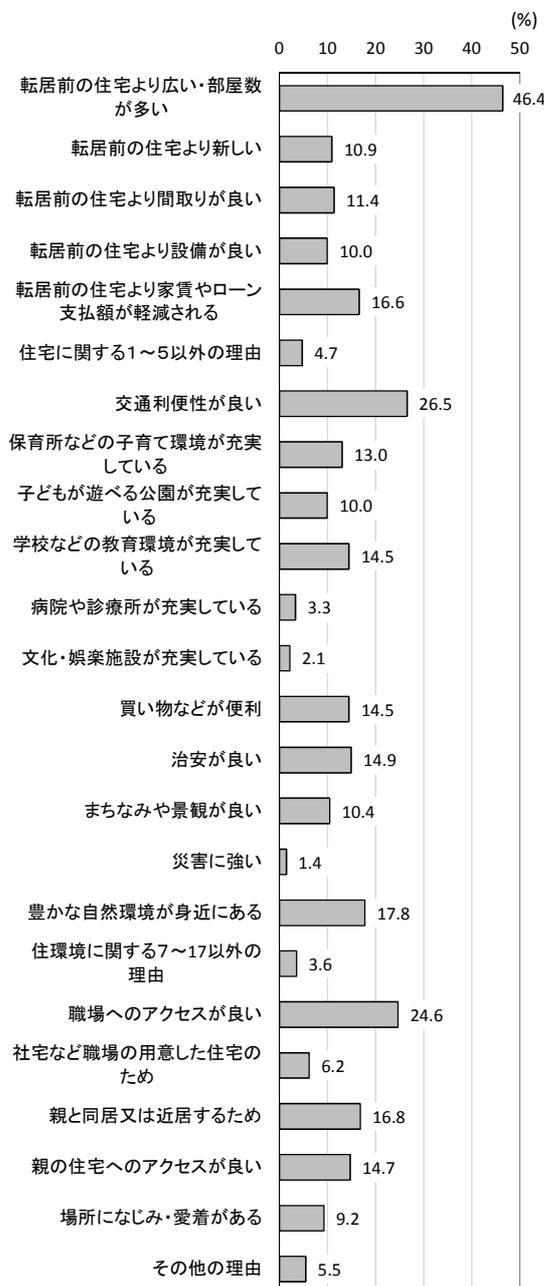
①選んだ理由（MA）

○全体では、転居前の住宅より広い・部屋数が多いが最も多く約46%、次いで交通利便性が良いが約27%となっている。意図的転出世帯では、転居前の住宅より広い・部屋数が多いが約51%と過半数を占め、転居前の住宅より新しい、間取りが良い、家賃やローンの支払いが軽減される等の住宅条件に関する理由も全体より高くなっている。子育て環境や自然環境、また親との関係に関する理由も全体より高い。一方、交通利便性が良いは理由の2位に位置するも全体より低く、職場へのアクセスについても全体よりかなり下回っている。

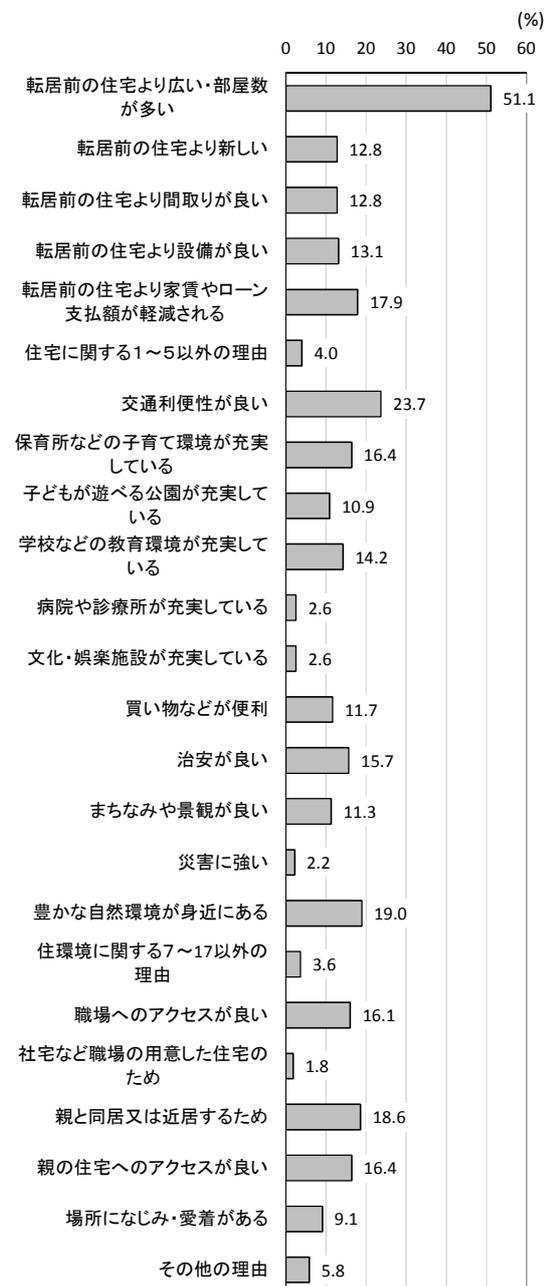
■転居先住宅を選んだ理由

<選んだ理由(複数)>

○全体〔n=422〕



○意図的転出世帯〔n=274〕



■転居先住宅を選んだ理由〔n=422〕

		合計	Q32-1 転居先住宅を選んだ理由							
			転居前の住宅より広い・部屋数が多い	転居前の住宅より新しい	転居前の住宅より間取りが良い	転居前の住宅より設備が良い	転居前の住宅より家賃やローン支払額が軽減される	住宅に関する1～5以外の理由	交通利便性が良い	保育所などの子育て環境が充実している
全体		422 100.0	196 46.4	46 10.9	48 11.4	42 10.0	70 16.6	20 4.7	112 26.5	55 13.0
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	55 37.9	11 7.6	13 9.0	6 4.1	21 14.5	9 6.2	47 32.4	10 6.9
	意図的転出世帯	274 100.0	140 51.1	35 12.8	35 12.8	36 13.1	49 17.9	11 4.0	65 23.7	45 16.4
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q32-1 転居先住宅を選んだ理由							
			子どもが遊べる公園が充実している	学校などの教育環境が充実している	病院や診療所が充実している	文化・娯楽施設が充実している	買い物などが便利	治安が良い	まちなみや景観が良い	災害に強い
全体		422 100.0	42 10.0	61 14.5	14 3.3	9 2.1	61 14.5	63 14.9	44 10.4	6 1.4
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	12 8.3	22 15.2	7 4.8	2 1.4	29 20.0	20 13.8	12 8.3	0 0.0
	意図的転出世帯	274 100.0	30 10.9	39 14.2	7 2.6	7 2.6	32 11.7	43 15.7	31 11.3	6 2.2
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

		合計	Q32-1 転居先住宅を選んだ理由							
			豊かな自然環境が身近にある	住環境に関する7～17以外の理由	職場へのアクセスが良い	社宅など職場の用意した住宅のため	親と同居又は近居するため	親の住宅へのアクセスが良い	場所になじみ・愛着がある	その他の理由
全体		422 100.0	75 17.8	15 3.6	104 24.6	26 6.2	71 16.8	62 14.7	39 9.2	23 5.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	22 15.2	5 3.4	60 41.4	21 14.5	19 13.1	17 11.7	14 9.7	7 4.8
	意図的転出世帯	274 100.0	52 19.0	10 3.6	44 16.1	5 1.8	51 18.6	45 16.4	25 9.1	16 5.8
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q32-1 転居先住宅を選んだ理由
			無回答
全体		422 100.0	11 2.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	6 2.2
	無回答	3 100.0	2 66.7

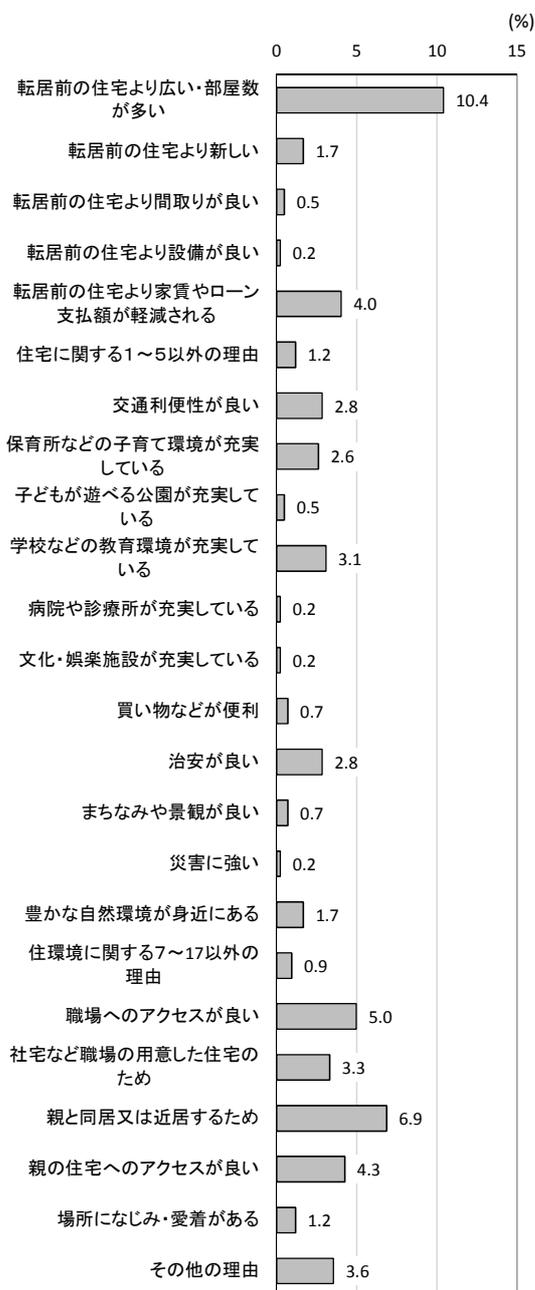
②最も重視した理由（SA）

○全体では、転居前の住宅より広い・部屋数が多いが最も多く約10%を占め、次いで親と同居又は近居するためが約7%となるが、他の理由は5%以下の分散した結果となっている。意図的転出世帯では、親との関係に関する理由が全体より高くなっている。

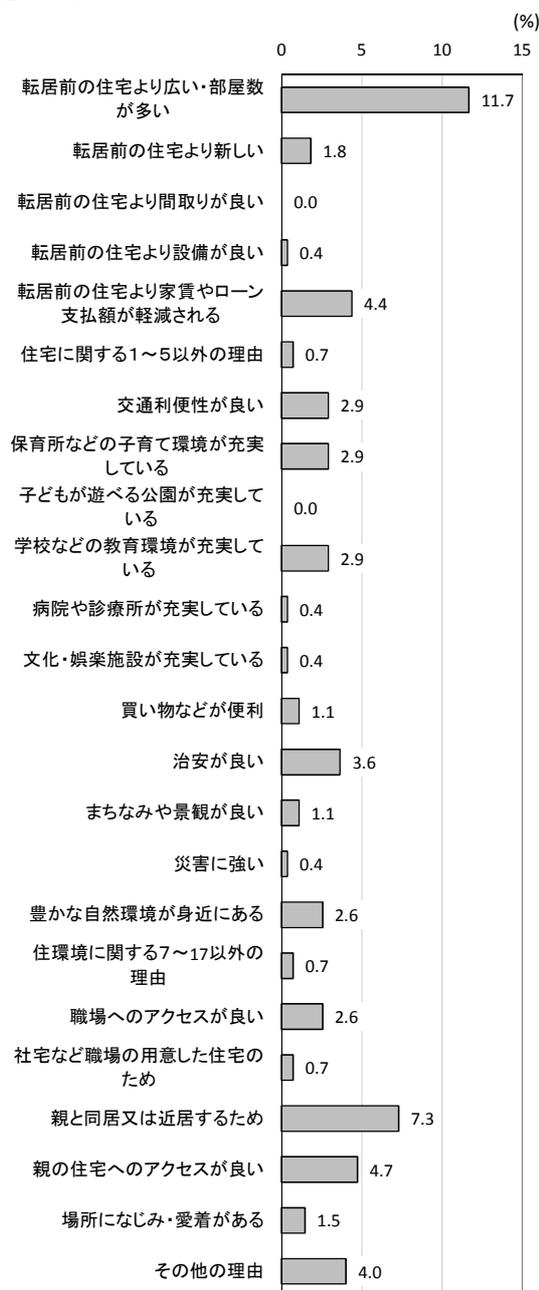
■転居先住宅を選んだ理由【最重視】

<最も重視した理由>

○全体〔n=422〕



○意図的転出世帯〔n=274〕



■転居先住宅を選んだ理由【最重視】〔n=422〕

		合計	Q32-2 転居先住宅を選んだ理由【最重視】							
			転居前の住宅より広い・部屋数が多い	転居前の住宅より新しい	転居前の住宅より間取りが良い	転居前の住宅より設備が良い	転居前の住宅より家賃やローン支払額が軽減される	住宅に関する1～5以外の理由	交通利便性が良い	保育所などの子育て環境が充実している
全体		422 100.0	44 10.4	7 1.7	2 0.5	1 0.2	17 4.0	5 1.2	12 2.8	11 2.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	12 8.3	2 1.4	2 1.4	0 0.0	5 3.4	3 2.1	4 2.8	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	32 11.7	5 1.8	0 0.0	1 0.4	12 4.4	2 0.7	8 2.9	8 2.9
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q32-2 転居先住宅を選んだ理由【最重視】							
			子どもが遊べる公園が充実している	学校などの教育環境が充実している	病院や診療所が充実している	文化・娯楽施設が充実している	買い物などが便利	治安が良い	まちなみや景観が良い	災害に強い
全体		422 100.0	2 0.5	13 3.1	1 0.2	1 0.2	3 0.7	12 2.8	3 0.7	1 0.2
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	2 1.4	5 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 1.4	0 0.0	0 0.0
	意図的転出世帯	274 100.0	0 0.0	8 2.9	1 0.4	1 0.4	3 1.1	10 3.6	3 1.1	1 0.4
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q32-2 転居先住宅を選んだ理由【最重視】							
			豊かな自然環境が身近にある	住環境に関する7～17以外の理由	職場へのアクセスが良い	社宅など職場の用意した住宅のため	親と同居又は近居するため	親の住宅へのアクセスが良い	場所になじみ・愛着がある	その他の理由
全体		422 100.0	7 1.7	4 0.9	21 5.0	14 3.3	29 6.9	18 4.3	5 1.2	15 3.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	0 0.0	2 1.4	14 9.7	12 8.3	9 6.2	5 3.4	1 0.7	4 2.8
	意図的転出世帯	274 100.0	7 2.6	2 0.7	7 2.6	2 0.7	20 7.3	13 4.7	4 1.5	11 4.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q32-2 転居先住宅を選んだ理由【最重視】 無回答
全体		422 100.0	174 41.2
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	58 40.0
	意図的転出世帯	274 100.0	113 41.2
	無回答	3 100.0	3 100.0

問33. 今後の居住予定について教えてください。〔〇は1つ〕

〇全体では、現在の住まいにずっと住み続けるつもりであるとする世帯が約43%となっている。
意図的転出世帯では、ずっと住み続けるとする世帯が約57%と全体を大きく上回っている。

■今後の居住予定〔n=422〕

		合計	Q33 今後の居住予定				無回答
			現在の住 まいに は、短期 間（1～ 2年程 度）住む 予定であ る	具体的な 期間は決 めていな いが、い ずれ転居 する予定 である	現在の住 まいに ずっと住 み続ける つもりで ある	わからな い	
全体		422 100.0	51 12.1	135 32.0	180 42.7	52 12.3	4 0.9
MKQ31 転居 のきっかけや 理由	職務理由転出世帯	145 100.0	30 20.7	72 49.7	20 13.8	22 15.2	1 0.7
	意図的転出世帯	274 100.0	21 7.7	63 23.0	157 57.3	30 10.9	3 1.1
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0

5. 川崎市に不足していた点・今後充実すべき取組についてうかがいます。

問34. 川崎市にお住まいの間、不足していると感じていたことや、今後、より充実したほうが良いと感じる取組について教えてください。〔以下の1.～28.のうち、5つまで〇をしてください。そのうち、最も重視した取組は◎にしてください。〕

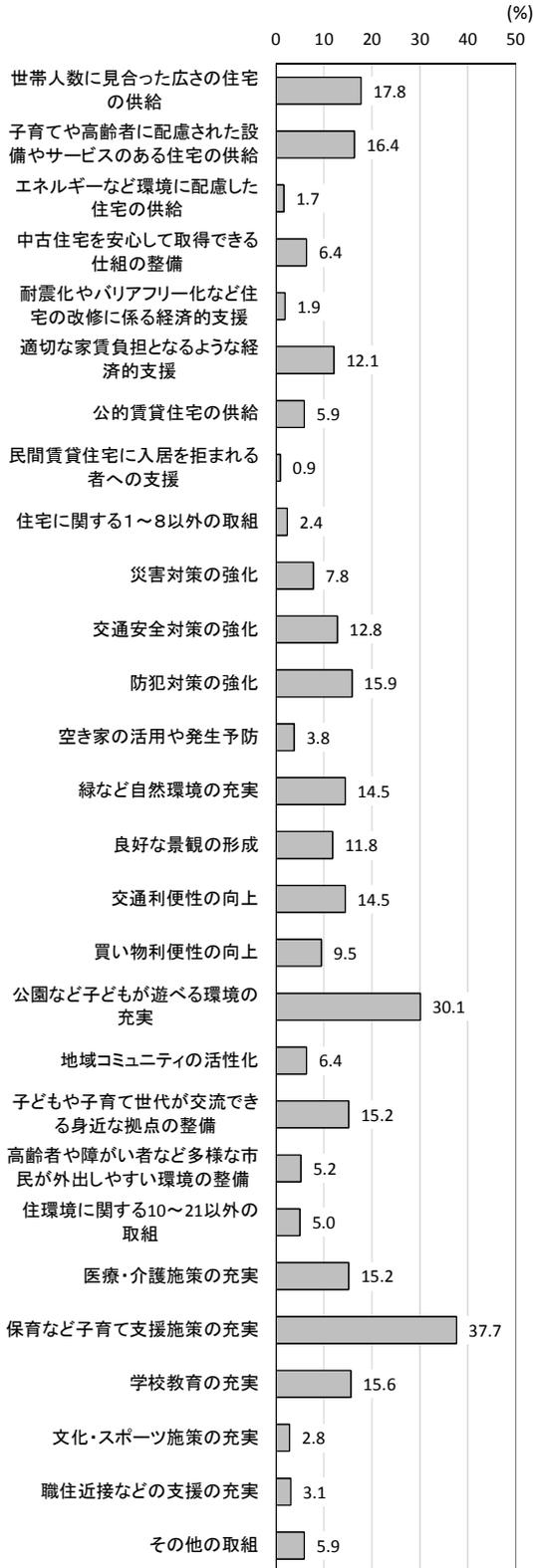
①充実すべき取組（MA）

〇全体では、保育など子育て支援策の充実が約38%と最も多く、次いで公園など子どもが遊べる環境の充実が約30%となっている。全28の選択肢のうち10%以上の回答があった理由は13、このうち住宅条件に関する理由は3つ、子どもや子育てに関する理由は5つが含まれている。意図的転出世帯では、最も多い保育など子育て支援策の充実は全体よりやや高く、第2位、3位の理由も子ども・子育てに関する理由となっている。

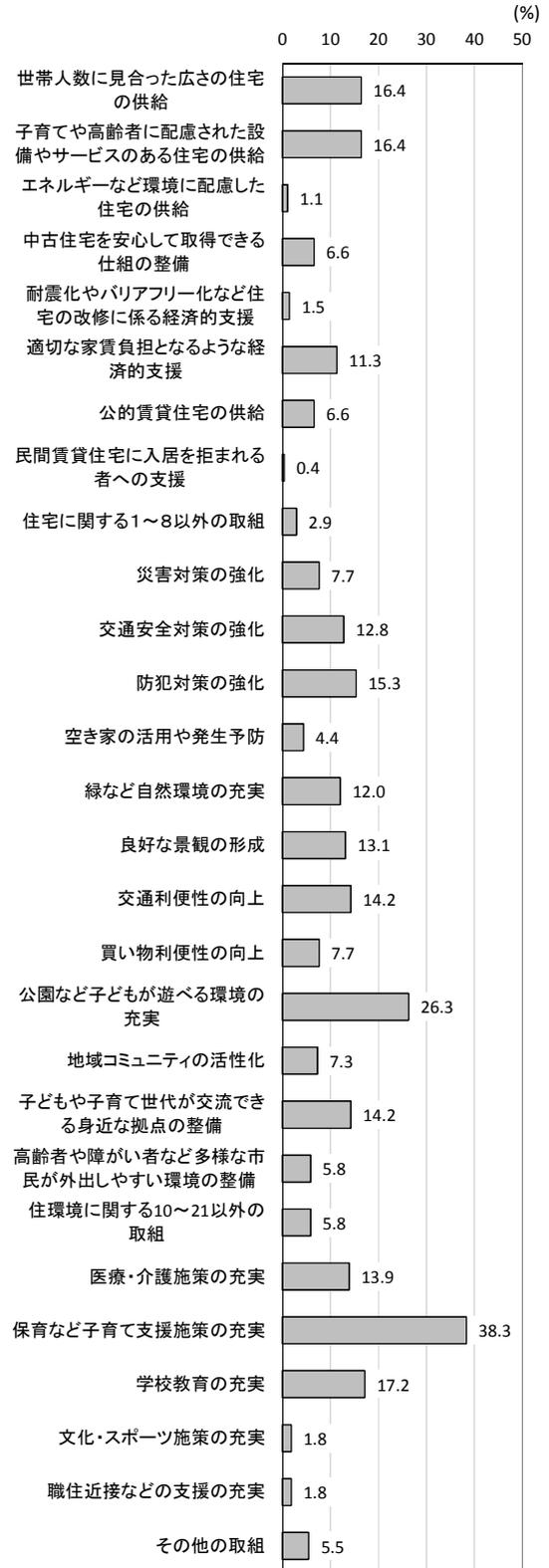
■川崎市に不足していた点・充実すべき取組

<充実すべき取組(複数)>

○全体 [n=422]



○意図的転出世帯 [n=274]



■川崎市に不足していた点・充実すべき取組〔n=422〕

		合計	Q34-1 川崎市に不足していた点・充実すべき取組							
			世帯人数に見合った広さの住宅の供給	子育てや高齢者に配慮された設備やサービスのある住宅の供給	エネルギーなど環境に配慮した住宅の供給	中古住宅を安心して取得できる仕組の整備	耐震化やバリアフリー化など住宅の改修に係る経済的支援	適切な家賃負担となるような経済的支援	公的賃貸住宅の供給	民間賃貸住宅に入居を拒まれる者への支援
全体		422 100.0	75 17.8	69 16.4	7 1.7	27 6.4	8 1.9	51 12.1	25 5.9	4 0.9
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	28 19.3	23 15.9	4 2.8	9 6.2	4 2.8	20 13.8	7 4.8	3 2.1
	意図的転出世帯	274 100.0	45 16.4	45 16.4	3 1.1	18 6.6	4 1.5	31 11.3	18 6.6	1 0.4
	無回答	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q34-1 川崎市に不足していた点・充実すべき取組							
			住宅に関する1～8以外の取組	災害対策の強化	交通安全対策の強化	防犯対策の強化	空き家の活用や発生予防	緑など自然環境の充実	良好な景観の形成	交通利便性の向上
全体		422 100.0	10 2.4	33 7.8	54 12.8	67 15.9	16 3.8	61 14.5	50 11.8	61 14.5
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	2 1.4	12 8.3	19 13.1	25 17.2	4 2.8	28 19.3	13 9.0	22 15.2
	意図的転出世帯	274 100.0	8 2.9	21 7.7	35 12.8	42 15.3	12 4.4	33 12.0	36 13.1	39 14.2
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

		合計	Q34-1 川崎市に不足していた点・充実すべき取組							
			買い物利便性の向上	公園など子どもが遊べる環境の充実	地域コミュニティの活性化	子どもや子育て世代が交流できる身近な拠点の整備	高齢者や障がい者など多様な市民が外出しやすい環境の整備	住環境に関する10～21以外の取組	医療・介護施策の充実	保育など子育て支援施策の充実
全体		422 100.0	40 9.5	127 30.1	27 6.4	64 15.2	22 5.2	21 5.0	64 15.2	159 37.7
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	18 12.4	55 37.9	7 4.8	25 17.2	6 4.1	4 2.8	25 17.2	53 36.6
	意図的転出世帯	274 100.0	21 7.7	72 26.3	20 7.3	39 14.2	16 5.8	16 5.8	38 13.9	105 38.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3

		合計	Q34-1 川崎市に不足していた点・充実すべき取組				無回答
			学校教育の充実	文化・スポーツ施策の充実	職住近接などの支援の充実	その他の取組	
全体		422 100.0	66 15.6	12 2.8	13 3.1	25 5.9	24 5.7
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	19 13.1	7 4.8	8 5.5	9 6.2	9 6.2
	意図的転出世帯	274 100.0	47 17.2	5 1.8	5 1.8	15 5.5	14 5.1
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3

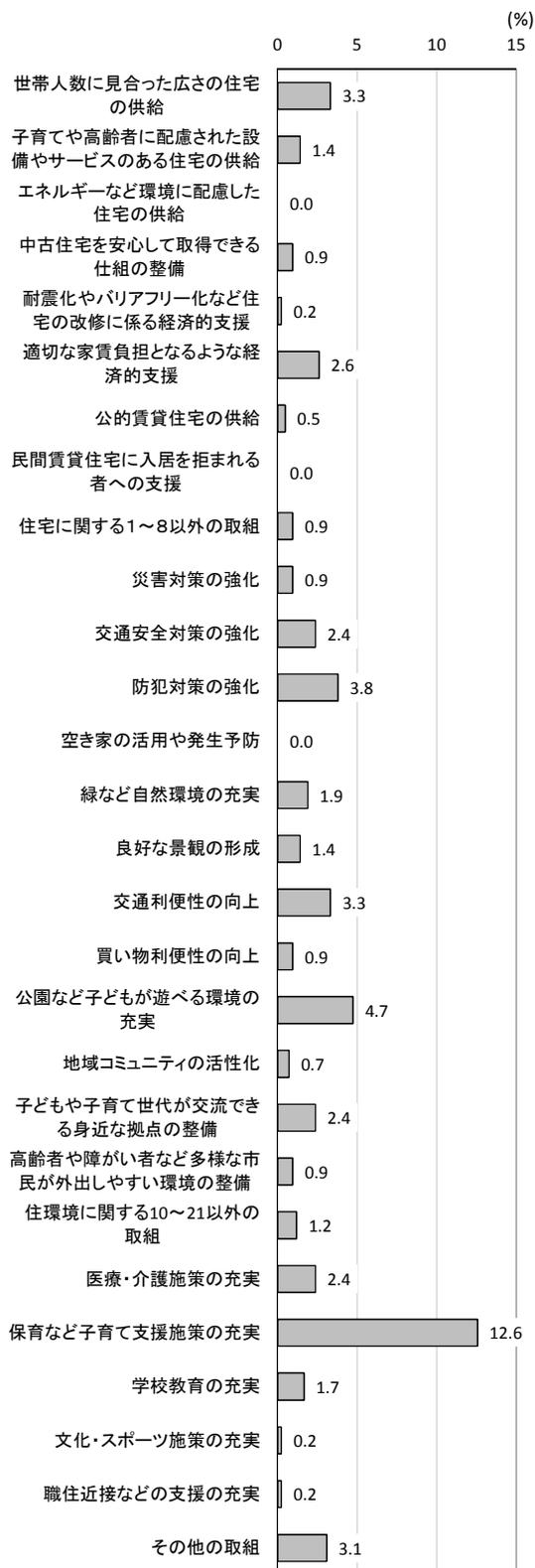
②最も重視した取組（SA）

○全体では、保育など子育て支援策の充実が約13%と最も多く、他の取組は5%以下の分散した結果となっている。意図的転出世帯も同様の傾向にある。

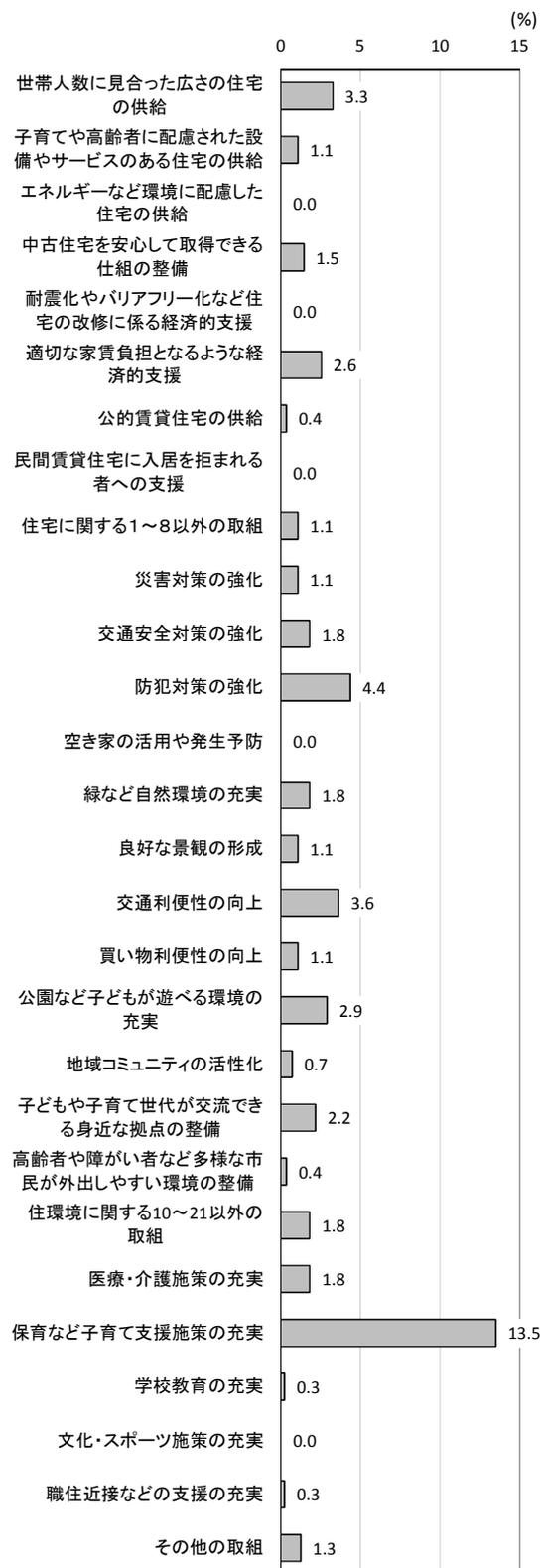
■川崎市に不足していた点・充実すべき取組【最重要】

<最も重視した取組>

○全体〔n=422〕



○意図的転出世帯〔n=274〕



■川崎市に不足していた点・充実すべき取組【最重視】〔n=422〕

		合計	Q34-2 川崎市に不足していた点・充実すべき取組【最重視】							
			世帯人数に見合った広さの住宅の供給	子育てや高齢者に配慮された設備やサービスのある住宅の供給	エネルギーなど環境に配慮した住宅の供給	中古住宅を安心して取得できる仕組の整備	耐震化やバリアフリー化など住宅の改修に係る経済的支援	適切な家賃負担となるような経済的支援	公的賃貸住宅の供給	民間賃貸住宅に入居を拒まれる者への支援
全体		422 100.0	14 3.3	6 1.4	0 0.0	4 0.9	1 0.2	11 2.6	2 0.5	0 0.0
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	5 3.4	3 2.1	0 0.0	0 0.0	1 0.7	4 2.8	1 0.7	0 0.0
	意図的転出世帯	274 100.0	9 3.3	3 1.1	0 0.0	4 1.5	0 0.0	7 2.6	1 0.4	0 0.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q34-2 川崎市に不足していた点・充実すべき取組【最重視】							
			住宅に関する1～8以外の取組	災害対策の強化	交通安全対策の強化	防犯対策の強化	空き家の活用や発生予防	緑など自然環境の充実	良好な景観の形成	交通利便性の向上
全体		422 100.0	4 0.9	4 0.9	10 2.4	16 3.8	0 0.0	8 1.9	6 1.4	14 3.3
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	1 0.7	1 0.7	5 3.4	4 2.8	0 0.0	3 2.1	3 2.1	4 2.8
	意図的転出世帯	274 100.0	3 1.1	3 1.1	5 1.8	12 4.4	0 0.0	5 1.8	3 1.1	10 3.6
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q34-2 川崎市に不足していた点・充実すべき取組【最重視】							
			買い物利便性の向上	公園など子どもが遊べる環境の充実	地域コミュニティの活性化	子どもや子育て世代が交流できる身近な拠点の整備	高齢者や障がい者など多様な市民が外出しやすい環境の整備	住環境に関する10～21以外の取組	医療・介護施策の充実	保育など子育て支援施策の充実
全体		422 100.0	4 0.9	20 4.7	3 0.7	10 2.4	4 0.9	5 1.2	10 2.4	53 12.6
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	1 0.7	12 8.3	1 0.7	4 2.8	3 2.1	0 0.0	5 3.4	16 11.0
	意図的転出世帯	274 100.0	3 1.1	8 2.9	2 0.7	6 2.2	1 0.4	5 1.8	5 1.8	37 13.5
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		合計	Q34-2 川崎市に不足していた点・充実すべき取組【最重視】				
			学校教育の充実	文化・スポーツ施策の充実	職住近接などの支援の充実	その他の取組	無回答
全体		422 100.0	7 1.7	1 0.2	1 0.2	13 3.1	191 45.3
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	1 0.7	0 0.0	1 0.7	5 3.4	61 42.1
	意図的転出世帯	274 100.0	6 2.2	1 0.4	0 0.0	8 2.9	127 46.4
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0

問35. 川崎市の住宅政策に関するご意見などがあれば、自由にお書きください。

		Q35 川崎市の住宅政策に関するご意見							
		合計	①子育てに関すること	②住宅に関すること	③住環境に関すること	④交通に関すること	⑤利便性に関すること	⑥行政に関すること	⑦その他
全体		422 100.0	57 13.5	41 9.7	49 11.6	17 4.0	16 3.8	17 4.0	21 5.0
MKQ31 転居のきっかけや理由	職務理由転出世帯	145 100.0	12 8.3	8 5.5	15 10.3	1 0.7	4 2.8	3 2.1	9 6.2
	意図的転出世帯	274 100.0	45 16.4	33 12.0	34 12.4	16 5.8	11 4.0	14 5.1	12 4.4
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

問合せ先 川崎市まちづくり局
住宅政策部住宅整備推進課
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL. 044(200)2995



発行 2018（平成30）年3月